

医師臨床研修プログラム

令和 3 年 度

北海道大学病院

ご 挨拶

北 海 道 大 学 病 院

病院長 秋 田 弘 俊

北海道大学病院長の秋田弘俊です。まず、資格を持った医師としての本格的な第一歩の場としてこの北海道大学病院を検討していただいていることに感謝し、心から御礼申し上げます。また、同時に、研修責任者の一人として、大きな責任を感じております。

医師研修は、確かな実技を習得し、その基盤となる医学の総合力を臨床で実際の患者さんの診察・診療が可能なレベルにまで高めることが第一の目標です。これは、継続的な生涯学習で達成されることですが、最初の数年間で形成される基礎は、その医師の将来に大きく影響するものです。私自身、卒業直後の数年間で診た患者さん、教えを戴いた先生方、医療の本当の姿を教えてくれた医療関係者の皆さんのことを今でも鮮明に覚えており、その後の長い医師としての姿勢や生き方を決定づけました。

有名なローレンツの複雑系の考えでも、初期条件の微細な差が、その後の結果に大きな決定的な差を生みだすことが知られています。医療・医学は典型的な複雑系の科学ですが、皆さんの医師としての研修・成長も典型的な複雑系です。多様な診療科での実技研修、あるいは、医療人・社会人としての人間形成、Mentor、同僚との出会い。こうした初期研修は、皆さん方の将来に決定的な影響を及ぼします。

北大病院の研修プログラムは、毎年、進化しています。それは、社会や他学と表面的に足並みを合わせるのではなく、北大の提供できる優れた環境を最大限に利用し、また、研修される先生方の個々の進路や希望に沿うように tailor-made に限りなく近いものに進化しております。言い換えると、常に改善すべき点を抱えております。皆さん方には、遠慮なく、私達に、研修をより良いものするための御意見をお寄せ下さい。また、様々な選択肢の中から、大学病院を選択することの重み、あるいは、その意義を是非、体感して戴きたいと思っております。私達もその期待に応えるように、一般病院とは一味違った研修を提供できると思っております。

本院は、北海道大学という国内有数の教育・研究機関の主要な一員です。本院は、臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院、小児がん拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院などに指定されています。そこに求められるものは、丁寧な日常診療に加えて、①高度医療の提供と新治療法の開発 ②難病治療などの最後の砦としての機能など、地域や社会、あるいは、国・世界からの高い期待に応えること、そして、将来の医療を支える“人”を育成する役割です。

是非、皆さん方には、初期研修の段階から、日々の実学研修は当然のことながら、北海道大学の建学の精神である、高い志を持ち、大成への第一歩をこの北海道大学病院での研修からスタートさせて戴きたいと願っております。

北大病院が、皆さん方の医師人生の最良のスタート地点となることを確信しております。

新しく創りあげて欲しい ～あなたの力を最大限発揮するための特別な環境～

北海道大学病院

臨床研修センター長 平 野 聡

皆さんの目指すゴールは何でしょうか。初期臨床研修の修了という小さなものではないはずです。プロフェッショナルな医師として必要な能力は「臨床能力」だけではありません。「研究能力＝最善の方法で患者さんを治す能力」、「技術能力＝技術を高め、より高度なものへ発展させる努力」が必要なのです。この3つの能力をいかに早く身につけてプロとして活躍できるかは、初期研修の2年間で過ごす施設と自身の心掛け次第で大きく変わります。

北海道大学病院が提供する初期臨床研修プログラムでは、皆さんがプライマリ・ケアから最先端医療まで幅広い能力を備えた“応用力のある専門医”に成長していけるよう指導しています。基盤となる臨床能力を固めて研究能力・技術能力を伸ばしてもバランスよく育成しています。

全国から集まった研修医仲間と交流を深めながら切磋琢磨し、北海道大学に引き継がれる「フロンティア精神」のもと、一人一人が新しい研修のかたちを創造する主役であってほしいと願っております。北海道大学病院はそのような“lofty ambition”（高邁なる大志）を持つ研修医に最大限のサポートと活躍の場を提供します。

社会のニーズに応え、質の高い医療を提供できる「プロフェッショナルな自分」を見据え、私たちとともに研修をスタートしませんか。医師としての貴重な2年間、北海道大学病院でスタートダッシュを切りましょう。

目 次

- ・ ご 挨 拶
北海道大学病院長 秋 田 弘 俊
- ・ 新しく創りあげて欲しい～あなたの力を最大限発揮するための特別な環境～
北海道大学病院臨床研修センター長
平 野 聡

北海道大学病院の概要	1
北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要	3
各科の概要・指導者	8
募集定員ならびに募集及び採用の方法	42
研修協力病院	44
臨床研修施設	45
研修達成目標（研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	88
北海道大学病院における臨床研修医の医療行為に関する基準	101
北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規	105
北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項	108
北海道大学病院臨床研修センター内規	110
臨床研修センター配置図	113

北海道大学病院の概要

平成 15 年 10 月 1 日、医学部附属病院と歯学部附属病院が統合され、医療法上「北海道大学病院」となりました。

「北海道大学病院」は、北海道大学医学部・歯学部附属の教育・研究施設として、医科・歯科の高度・良質な統合的医療に基づく、全人的医療の提供ならびに全人教育を実践する道内唯一の医療施設として、以下の基本理念に基づき、その目標を実現するため、環境の整備と体制の確立に努めます。

1. 北海道大学病院の理念と目標

① 理念

北海道大学病院は、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献します。

② 目標

- ・患者本位で安心・安全な医療の提供
- ・人間性豊かで有能な医療人の育成
- ・先進的な医療の開発と提供
- ・地域医療への貢献

2. 病床数及び診療状況

診療科	病床数	診療状況（2018 年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
内科Ⅰ	48 床	23,900 名	15,334 名
内科Ⅱ	49	49,857	16,253
消化器内科	48	41,926	17,991
循環器内科	35	14,398	10,802
血液内科	40	13,536	14,060
腫瘍内科	21	4,884	7,324
消化器外科Ⅰ	47	10,578	16,233
消化器外科Ⅱ	29	4,462	11,079
循環器・呼吸器外科	32	6,461	10,745
整形外科	59	27,338	20,239

診 療 科	病床数	診療状況（2018 年度実績）	
		外来患者数	入院患者数
泌尿器科	33	21,110	10,373
麻酔科	2	19,065	24
形成外科	25	7,811	6,801
乳腺外科	6	8,467	1,770
救急科	12	1,631	6,395
神経内科	25	14,915	8,248
眼科	35	41,168	12,935
耳鼻咽喉科	38	17,699	12,952
皮膚科	23	15,960	7,036
精神科神経科	70	45,330	18,252
脳神経外科	39	9,390	13,635
リハビリテーション科	20	55,067	2,700
産科	42	9,345	13,371
婦人科	32	21,322	9,589
小児科	33	18,367	13,409
放射線治療科	18	23,382	6,037
放射線診断科	1	52,701	285
核医学診療科	9	6,143	3,028
集中治療室（ICU）	10	0	(3,110)
高度治療室（HCU）	5	0	(725)
新生児集中治療室（NICU）	9	0	(3,066)
新生児治療回復室（GCU）	(11)	0	(1,996)
母体胎児集中治療室（MFICU）	(3)	0	(1,026)
高度無菌室	6	0	(1,322)
合 計	901	586,213	286,900

※病床数（ ）内は産科病床数の内数

入院患者数（ ）内は各診療科入院患者数の内数

北海道大学病院医師臨床研修プログラムの概要

1. プログラムの名称

- (1) 北海道大学病院臨床研修標準プログラム
- (2) 北海道大学病院臨床研修実践産婦人科プログラム
- (3) 北海道大学病院臨床研修実践小児科プログラム

2. プログラムの目的と特徴

北海道大学病院と地域の臨床研修病院、診療所が病院群を構成して研修医を受け入れることにより、幅広い分野に対応できる知識・技能といった基本的な診療能力だけでなく、医師としての姿勢・態度を涵養し、社会のニーズに応える真のプロフェッショナルな臨床医を育てるプログラムである。

産婦人科プログラムにおいては、24 週選択必修する（産婦人科重点）。また、小児科プログラムにおいても 24 週選択必修（小児科重点）する。

3. 募集定員：38 名

（標準 34 名・産婦人科 2 名、小児科 2 名）

4. 研修プログラム

1) 研修目標

初期の研修において、全ての研修医が適切な指導体制の下で、効果的に幅広く医師としての必要な診療能力を身につけ、人格を涵養する。

2) 標準プログラム

目標を達成するため北海道大学病院では 3 種類の研修コースを用意した。大学病院において 1 年目研修を行い、学外の臨床研修病院において 2 年目研修を行う方式（A コース）と学外の臨床研修病院において 1 年目研修を行い、大学病院において 2 年目研修を行う方式（B コース）。1 年目・2 年目ともに大学病院において研修を行う方式（C コース）である。

・ A コース

1 年目（大学病院）

必修科目または選択必修科目

2 年目（臨床研修病院）

地域医療 4 週以上（一般外来を含む）

※ 2 年間で内科 24 週以上、外科 4 週以上、小児科 4 週以上、産婦人科 4 週以上、精神科 4 週以上、救急 12 週以上を研修する。

・ Bコース

1 年目（臨床研修病院）

必修科目または選択必修科目

2 年目（大学病院）

地域医療 4 週以上（一般外来を含む）

※ 2 年間で内科 24 週以上、外科 4 週以上、小児科 4 週以上、産婦人科 4 週以上、精神科 4 週以上、救急 12 週以上を研修する。

・ Cコース（国際的医療人育成プログラムはCコースを選択）

1 年目（大学病院）

必修科目または選択必修科目

2 年目（大学病院）

地域医療 4 週以上（一般外来を含む）

※ 2 年間で内科 24 週以上、外科 4 週以上、小児科 4 週以上、産婦人科 4 週以上、精神科 4 週以上、救急 12 週以上を研修する。

3) 実践産婦小児科プログラム

1 年目（大学病院または臨床研修病院）

産婦人科または小児科選択 8 週、1 年目の 40 週で、内科 24 週、救急 8 週、麻酔科 4 週、外科 4 週を選択

2 年目（大学病院または臨床研修病院）

産婦人科 4 週、小児科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週以上、自由選択 16 週、産婦人科または小児科 16 週

4) 国際的医療人育成プログラム

わが国の長期戦略において、「国際化」は重要な位置づけにあります。医療の現場も例外ではなく、医療技術の輸出や海外への人材派遣など「アウトバウンド事業」や、海外からの患者や医療研修者の受け入れなど「インバウンド事業」が着手されていますが、これらを推進する人材の確保が欠かせません。

国際化に適応し能力を発揮できる医療人の育成は、当院が果たすべき重要なミッションの 1 つと捉え、2018 年度より本プログラムを設置しました。次代を担う Physician Scientist（研究医）の養成を目指し、早期から国際的な環境の中で経験値を高める機会を提供していきます。



5) CLARC プログラム

CLARC (CLinic And Research Combination) プログラムは臨床研修2年目 (B・Cコース) に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラムです。

あくまでも臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。

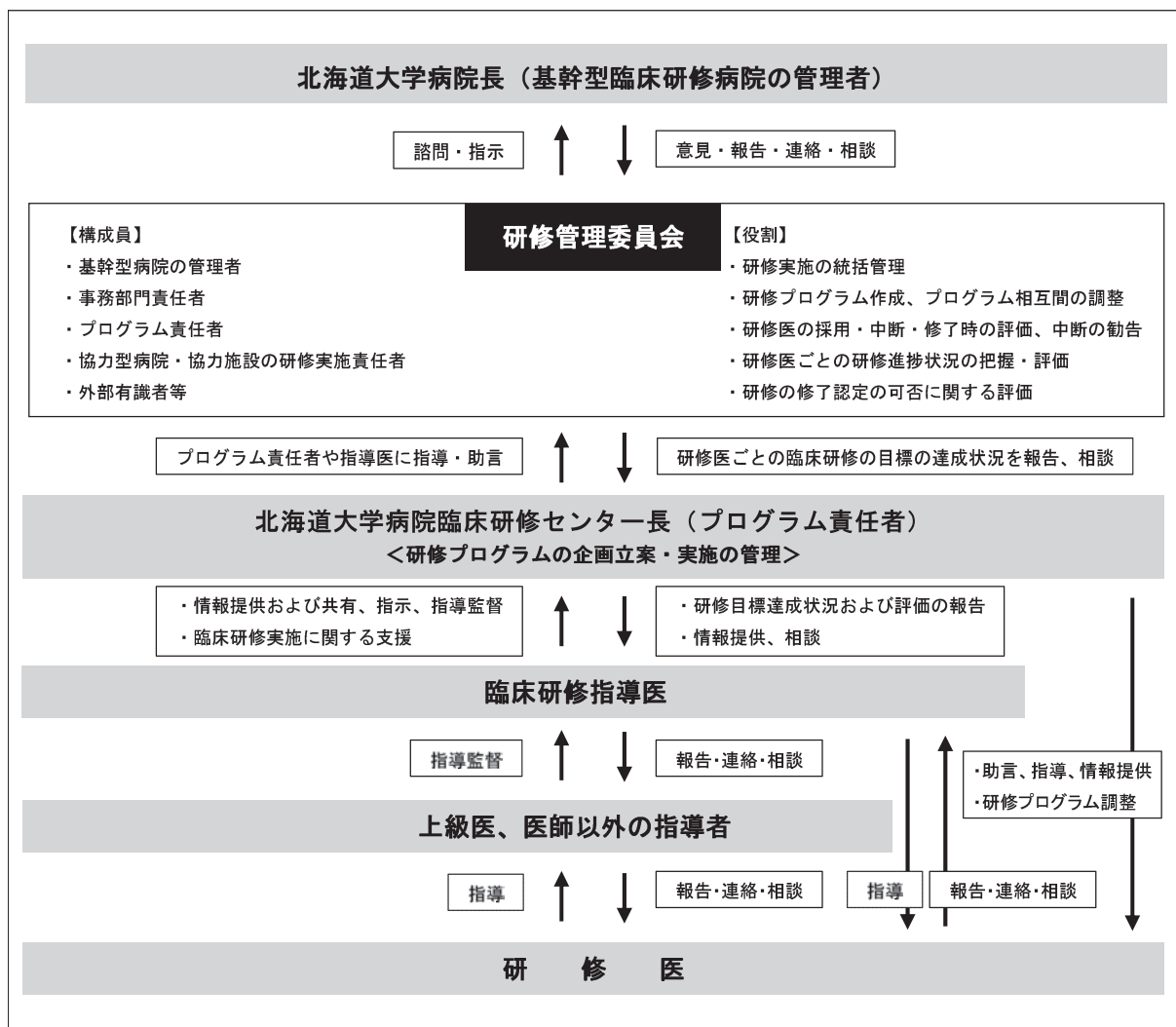


6) 研修スケジュールの例 (標準プログラム)

1年目【必修】											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4W	24W						4W	4W	4W	8W	
外科	内科						小児	精神科 神経科	産婦 人科	救急	
2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4W	8W		36W								
救急 (必須)	地域 (必修)		自由選択								

5. 研修医指導体制

- ① 研修実施責任者 平 野 聡（医師臨床研修部門長）
- ② プログラム管理
- プログラム管理責任者 平 野 聡（医師臨床研修部門長）
- プログラム管理副責任者 加 藤 達 哉（医師臨床研修副部門長）
- 小野澤 真 弘（臨床研修センター講師）
- ③ 指導体制の概要



6. 研修医の処遇

1) 北海道大学病院

身 分：非常勤職員、臨床研修医として採用

手 当：給 与 9,075 円／日

臨床研修医手当 5,000 円／日

宿直手当 13,000 円／日

通勤手当あり

寒冷地手当（支給要件を満たす場合）

賞与なし

勤務時間：月曜日～金曜日、8：30～17：00

有給休暇：10日間／年（たすきがけ協力病院研修中は、各病院の規定に基づきます）

リフレッシュ休暇：3日間／年

年末年始休暇：あり

特別休暇：あり（忌引き等）

公的医療保険：社会保険

公的年金：厚生年金

労働保険：労働者災害補償（労災）適用あり

雇用保険あり

病院内の臨床研修医控室：個別デスクあり。LAN配線。Wi-Fi完備。

医師賠償責任保険：個別加入

保育施設：北大構内にあり。病後児保育室もあり。

宿 舎：あり（男性用宿舎（単身用）定員10名、女性用宿舎（単身用）定員15名）

その他：アルバイト診療禁止（医師法第16条の3）。自動車通勤禁止。

2）協力型臨床研修病院：各病院の処遇による。

内 科 I

1. 指 導 医

指導責任者：今野 哲

指導医：榊原 純、品川 尚文、菊地 英毅、菊地 順子、大平 洋、朝比 奈肇
鈴木 雅、渡部 拓、清水 薫子、水柿 秀紀

2. 研修内容

呼吸器 (非腫瘍・肺循環)	非腫瘍・肺循環系の呼吸器疾患（閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、アレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、肺高血圧症など）の考え方、鑑別、治療方法を学ぶ。問診、診察、胸部写真・呼吸機能検査・心電図の読み方から、気管支鏡検査、心エコー、右心カテーテル検査、抗生剤やステロイドの使い方、呼吸循環管理まで、内科医としての基本的な考え方を学んでもらう。				
呼吸器腫瘍	肺癌のみならず、胸部の結節性陰影・腫瘤性陰影、胸膜病変、胸水の考え方、鑑別、診断アプローチ方法を学ぶ。気管支鏡、化学療法、分子標的治療の適応と実際の使用方法を学ぶ。また、癌患者の全身管理を通じて内科医としての基本的な考え方を学び、癌患者への接し方、告知の方法も学んでもらう。				
	月	火	水	木	金
午 前		8:30- 肺循環カンファ 10:00- 気管支鏡	総回診 11:30- 医局会		10:00- 気管支鏡
午 後	16:00- 非腫瘍・肺癌Gカンファ 17:30- 病理カンファ	14:00- 透視下気管支鏡、心カテ 17:00- 放射線治療カンファ 17:30- 外科カンファ	14:00- 透視下気管支鏡		15:00- トレッドミル 16:00- 非腫瘍カンファ

内 科 II

1. 指 導 医

指導責任者：渥美 達也

指導医：西尾 妙織（腎臓）、奥 健志（膠原病）、中村 昭伸（糖尿病・内分泌）

加藤 将（膠原病）、中沢 大悟（腎臓）、曹 圭龍（糖尿病・内分泌）

藤枝 雄一郎（膠原病）、亀田 啓（糖尿病・内分泌）

河野 通仁（膠原病）、野本 博司（糖尿病・内分泌）

2. 研修内容

膠原病	自己免疫疾患の診断と治療・発熱性疾患の鑑別・腰椎穿刺・骨髄穿刺・中心静脈確保・胸腹水穿刺				
腎臓	腎疾患の診断と治療・電解質の管理・透析・中心静脈確保・胸腹水穿刺				
糖尿病・内分泌	糖尿病の専門的管理と患者教育・内分泌疾患の鑑別と負荷試験を含む診断と治療				
	月	火	水	木	金
午 前	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟	回診・病棟
午 後	総回診 カンファレンス (膠原病、糖尿病・内分泌)	病棟・医局会 カンファレンス (腎臓)	病棟	病棟	病棟

消化器内科

1. 指導医

指導責任者：坂本 直哉

指導医：小野 尚子、大西 俊介、清水 勇一、小松 嘉人、小川 浩司
森川 賢一、須田 剛生、莊 拓也、中井 正人、山本 桂子
大野 正芳、栗谷 将城、結城 敏志、桂田 武彦、川本 泰之

2. 研修内容

肝臓	●肝炎ウイルス治療に対する抗ウイルス薬・インターフェロンをはじめとする治療を理解し、習得する。 ●肝臓に対する各種治療を理解し、習得する。 ●食道静脈瘤治療に対する治療を理解し、習得する。 [グループ研修] 月：19時～：外科、放射線科合同カンファレンス、木：16時～：グループカンファレンス、グループ回診
化学療法	●消化器癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 ●腫瘍関連の諸症状（癌性疼痛など）に対する集学的治療の実践。 ●新薬開発に触れることで薬剤開発の流れや仕組みを理解する。 [グループ研修] 月：18時～：グループカンファレンス、水：18時～（不定期）：抄読会／学会予行、木：9時～：放射線科合同カンファレンス、午後（不定期）：CVポート留置術、18時～：外科合同カンファレンス→グループカンファレンス、金：18時～：内視鏡・病理部合同カンファレンス、月～金：8時30分/17時00分頃：グループ回診
内視鏡治療	●模型を使い、消化管内視鏡手技の基本を理解し、習得する。 ●実際に患者（意識下鎮静患者から始め、非鎮静患者に step up）に対して上部消化管内視鏡検査を実践する。 ●消化管疾患の内視鏡診断、治療の基本を理解する。 [グループ研修] 月：8時15分～：内視鏡画像カンファレンス、8時30分～：抄読会、水：17時30分～：内視鏡治療カンファレンス、18時～研究カンファレンス、木：8時30分～：内視鏡画像カンファレンス、金：17時30分～：外科・病理部・化学療法合同カンファレンス、月～金：17時00分頃：グループ回診
胆膵	●胆膵内視鏡検査・処置を実際に見ることで理解を深める。 ●膵胆道疾患において、US、CT、EUSを中心とした画像診断の基本を身につける。 ●膵胆道癌に対する標準的化学療法、支持療法を理解し、習得する。 [グループ研修] 月～金午前（不定期）：超音波内視鏡検査、火・木午後：ERCPおよびEUS関連手技、水：19時～外科内科放射線科合同カンファレンス、月～金：9時00分/17時00分頃：グループ回診
炎症性腸疾患	●潰瘍性大腸炎、クローン病を中心に原因不明の難治性腸疾患の基本的な診断方法、治療方法を身につける。 ●画像診断としてエックス線、CT、エコー、バリウム造影、上下部消化管内視鏡検査の読影、補助を行う。 ●疾患のみを診るのではなく、各患者の背景を含めた全人的な医療を実践することで、医師として必要な人間性、人格を養う。

	月	火	水	木	金
午 前	病棟診療、内視鏡検査：8時30分	7時30分～：チャートカンファレンス 9時30分～：教授回診	病棟診療、内視鏡検査：8時30分	病棟診療、内視鏡検査：8時30分	病棟診療、内視鏡検査：8時30分
午 後	内視鏡治療	内視鏡治療 18時00分：医局会	内視鏡治療	内視鏡治療 ラジオ波（RFA）	内視鏡治療
備 考	各グループによるスケジュールは上記研修内容を参照				

循環器内科

1. 指導医

指導責任者：安齊 俊久

指導医：渡邊 昌也、石森 直樹、納谷 昌直、永井 利幸、岩野 弘幸、
神谷 究、小西 崇夫、鎌田 壘、辻永 真吾

2. 研修内容

通常	指導医のもと担当患者を受け持ち、診断、病態把握のための診察・検査を行い、診断に至るプロセスを学ぶ。 循環器疾患の病態・検査・治療に関する基礎知識の習得を行う。 胸部レントゲンならびに心電図の読影を行う。 心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 心臓カテーテル検査（右心カテーテル検査、冠動脈造影検査）を自ら施行し、検査所見を理解する。				
心エコー	心エコー検査を自ら施行し、エコー所見の読影を行う。 経食道心エコーなど特殊検査の所見の読影を行う。 * 循環内ローテーションが2カ月以上無い場合、原則、心エコー研修のみは受け付けない。				
	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	症例検討会 抄読会	病棟回診	病棟回診	心臓電気生理検査 カテーテルアブレーション治療
午後		心不全カンファレンス 虚血性心疾患カンファレンス	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査	心エコーカンファレンス
備考	その他：病理カンファレンス、外科症例カンファレンスへの参加				

血液内科

1. 指導医

指導責任者：豊嶋 崇徳

指導医：橋本 大吾、遠藤 知之、中川 雅夫、小野澤 真弘、杉田 純一
後藤 秀樹、白鳥 総一、荒 隆英、大東 寛

2. 研修内容

上級医のもと主治医として、化学療法・造血幹細胞移植を中心とした血液疾患への治療を行います。食事摂取不良・全身状態不良に対する全身管理が行えます。造血幹細胞移植や免疫不全の症例を通じて、感染症管理・抗生剤の使用方法についても学べます。骨髄穿刺・生検、髄液検査、抗がん剤の髄腔内投与、中心静脈カテーテル挿入などの手技を可能な限り行っていただきます。適切な症例がいた場合には、新患外来の補助も行っていただきます。その他、細胞採取への対応方法、ステロイドの使い方、HIV/AIDS の管理・治療、臨床研究、各種血液検査所見の解釈についても学べます。

	月	火	水	木	金
午 前	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療 午前：細胞採取	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療	8:30～病棟診療
午 後	病棟カンファレンス 16:00～ 臨床カンファレンス	病棟診療 多職種合同移植 カンファレンス	病棟診療 18:00～ リサーチカンファ レンス、病理カン ファレンス、学会 発表の予行など (週により異なり ます)	13:30～教授回診	病棟診療

腫瘍内科

1. 指導医

指導責任者：秋田 弘俊

指導医：木下 一郎、清水 康、竹内 啓、野口 卓郎、大原 克仁

2. 研修内容

肺癌、頭頸部癌、消化器癌、軟部肉腫、神経内分泌腫瘍、乳癌、甲状腺癌、原発不明癌など、臓器横断的に全身の幅広い領域の悪性固形腫瘍の診断、治療（薬物療法や化学放射線療法など）を通して、内科における基本的な臨床能力を身に着けます。免疫治療やがんゲノム医療の最先端を実践し、研修してもらいます。

	月	火	水	木	金
午 前	8時～乳腺カンファ 8時30分～朝カンファ 病棟診療	病棟診療	病棟診療 放射線治療カンファ	8時30分～朝カンファ 病棟診療	病棟診療
午 後	病棟診療 17時～抄読会	頭頸部癌カンファ 病棟診療 呼吸器外科カンファ	病棟診療 総回診・カンファ レンス がん遺伝子エキ スパートパネル	病棟診療 消化器癌カンファ	病棟診療
備 考	担当症例によって火曜日午後に緩和ケアカンファ 月1回神経内分泌腫瘍カンファあり				

消化器外科 I

1. 指導医

指導責任者：武富 紹信

指導医：神山 俊哉、川村 典生、蒲池 浩文、吉田 雅、嶋村 剛

市川 伸樹、本間 重紀、長津 明久、本多 昌平、折茂 達也

島田 慎吾、後藤 了一

2. 研修内容

術前診断、術前術後検討会でのプレゼン、手術参加、縫合結紮実習、内視鏡縫合結紮実習、術後全身管理をおこないます。患者さんの病態はもちろんのこと、大学病院ならではの基礎疾患をたくさんもったハイリスク患者の術式決定、周術期管理を先輩医師に寄り添って、学びます。また、小児鼠径ヘルニアの手術や、一時的、永久の人工肛門造設術、人工肛門閉鎖術を実際の術者として経験してもらいます。内視鏡手術のトレーナーを用いたスキルアップや、習熟度に応じて、腹腔鏡下大腸切除術を術者として経験してもらいます。

	月	火	水	木	金
午 前	術前カンファレンス、回診、外来	回診、手術	術前カンファレンス、回診、手術	M&Mカンファレンス、回診、手術	抄読会、回診、手術
午 後	教授回診、検査、腹腔鏡下縫合結紮実習	手術、回診	手術、検査、回診	手術、回診	手術、検査、回診

消化器外科Ⅱ

1. 指導医

指導責任者：平野 聡

指導医：七戸 俊明、倉島 庸、土川 貴裕、岡村 圭祐、中村 透

村上 壮一、海老原 裕磨、野路 武寛、浅野 賢道、中西 喜嗣

田中 公貴

2. 研修内容

消化器疾患に対する高難度手術や鏡視下手術の理論と実践のすべてが学べます。特に消化器癌や救急医療に関する画像診断および手術適応について最新の知見を学べます。周術期管理の実践を通して、知識・技術・検査の実際を習得でき、「全身を診る」ことのできる医師を養成します。手術では、手洗いをして手術メンバーとして参加し、皮切、縫合を行ってもらいます。

	月	火	水	木	金
午 前	回診	回診検査外来見学	回診手術	回診検査外来見学	回診手術
午 後	検査 リサーチカンファ レンス	検査	手術	検査	手術

循環器・呼吸器外科

1. 指導医

指導責任者：若狭 哲

指導医：循環器グループ：若狭 哲、大岡 智学、新宮 康栄、加藤 伸康

呼吸器グループ：加賀 基知三、樋田 泰浩、加藤 達哉

2. 研修内容

循環器外科	プライマリーケアに必要な外科知識や病態、基本的な手技を循環器外科疾患を通して習得する				
	月	火	水	木	金
午 前	回診・手術（小児）	回診・手術（成人）	回診・手術（成人）	回診・手術（小児）	回診・手術（成人）
午 後	手術・症例カンファレンス	手術・重症心不全カンファレンス	手術・弁膜症カンファレンス	手術（小児）	手術（成人）
呼吸器外科	外科志望の研修医は勿論、他の外科系診療科や内科、他専門領域志望の研修医にも胸部画像診断、採血や縫合、ドレーン留置・管理、全身管理、手術適応の判断の実際などを幅広く学んでもらう。				
	月	火	水	木	金
午 前	朝回診	朝回診	手術・朝回診	朝回診	手術・朝回診
午 後	病理切り出し・夕回診	夕回診 胸部腫瘍カンファレンス	手術・夕回診	夕回診	手術・夕回診

整形外科

1. 指導医

指導責任者：岩崎 倫政

指導医：松井 雄一郎、近藤 英司、小野寺 智洋、高橋 大介
須藤 英毅、高畑 雅彦

2. 研修内容

整形外科は上肢班・下肢班・股関節班・脊柱班に分かれて研修していただきます。研修期間及び希望にによって研修する班を決めています。短期間の研修でも、入院患者さんを担当していただき、整形外科の診療に関する教育を幅広く行います。

	月	火	水	木	金
午 前	術後検討会 回診 レクチャー	グループ検討会 手術	回診 診察 レクチャー	カンファレンス 手術	回診 診察
午 後	総回診 術前検討会	手術	検査 グループ検討会	手術 レクチャー	検査

泌尿器科

1. 指導医

指導責任者：篠原 信雄

指導医：安部 崇重、橘田 岳也、岩見 大基、堀田 記世彦、中村 美智子
大澤 崇宏、松本 隆児、千葉 博基、今 雅史

2. 研修内容

病棟、外来、手術と泌尿器科全般にわたり、指導医（専門医）の直接指導のもとで研修を積むことができる。					
	月	火	水	木	金
午 前	手術	手術ビデオ検討会 回診 外来研修	手術	回診 外来研修	総回診
午 後	手術	病棟業務、症例 検討会	手術	病棟業務：回診 ミニレクチャー	外来患者検討会

麻 酔 科

1. 指 導 医

指導責任者：森本 裕二

指導医：森本 裕二・瀧田 恒一・敦賀 健吉（緩和）・斉藤 仁志（ICU）

内田 洋介・森 敏洋・長谷 徹太郎・田中 暢洋・藤田 憲明

干野 晃嗣・西川 直樹・相川 勝洋・水野 谷和之・三浦 基嗣（緩和）

藤井 知昭・久保 康則・前田 洋典

2. 研修内容

1年目の1か月研修は手術麻酔を経験し、周術期管理を広く学ぶことを主眼としています。
その他、手技として気道確保、末梢静脈路や観血的動脈圧ライン確保の習得を目指します。
2年目の研修では手術麻酔だけでなく、「緩和・ペイン」、「集中治療」それぞれ単独での研修も可能です。
希望にあわせて対応いたしますのでお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金
午 前	7:45-勉強会 8:00-カンファ 8:15-手術麻酔	8:00-カンファ 8:15-手術麻酔	7:45-勉強会 8:00-カンファ 8:15-手術麻酔	8:00-カンファ 8:15-手術麻酔	8:00-カンファ 8:15-手術麻酔
午 後	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診	手術麻酔 術前回診 術後回診
備 考	「緩和・ペイン」は月水金AMペインクリニック、その他の時間帯は緩和研修、 「集中治療」は基本的に日勤、いずれも希望にあわせて調整します。（要相談）				

形成外科

1. 指導医

指導責任者：山本 有平

指導医：舟山 恵美、林 利彦、村尾 尚規、大澤 昌之、前田 拓

2. 研修内容

手術や外来、カンファランスでのプレゼンテーションを通じて、皮膚・軟部組織腫瘍、他科再建、頭蓋顔面・手足の先天異常および外傷など、多岐にわたる形成外科の診療領域全般にわたって広く知識を学ぶとともに、皮膚縫合などの基本手技を実践することが出来る。

	月	火	水	木	金
午 前	手術	カンファランス 外来	外来	カンファランス 外来	手術
午 後	手術	総回診 カンファランス	手術	特殊外来	手術

乳腺外科

1. 指導医

指導責任者：山下 啓子
 指導医：竹下 卓志
 押野 智博

2. 研修内容

乳癌診療に対する教育。入院・外来患者の診察、手術の助手、簡単な手術の術者カンファレンスの準備・参加、学会への参加					
	月	火	水	木	金
午 前	術後カンファ、 回診、 初診外来	初診外来、回診、 手術	術前カンファ、 回診、 初診外来	回診、手術	抄読会、教授総 回診、 病棟管理
午 後	病棟管理、 画像カンファ（月 1回）	手術、検査、 放射線治療カン ファ	病棟管理、検査、 病理カンファ	手術、検査	病棟管理

救 急 科

1. 指 導 医

指導責任者：和田 剛志

指導医：早川 峰司、前川 邦彦、片波見 謙一、吉田 知由

2. 研修内容

宿直メイン

救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。Dr.car 出動で病院前診療にも携わります。また、Dr.Heli 搭乗体験、他院での救急診療見学の相談にも応じます。

	月	火	水	木	金
午 前	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午 後	週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

日勤メイン

救急搬入症例の初期診療、および集中治療を含む入院診療が主体の研修です。Dr.car 出動で病院前診療にも携わります。また、Dr.Heli 搭乗体験、他院での救急診療見学の相談にも応じます。

	月	火	水	木	金
午 前	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理	申し送り、初療、病棟管理
午 後	週間カンファレンス、抄読会、初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理	初療、病棟管理

神経内科

1. 指導医

指導責任者：矢部 一郎

指導医：矢部 一郎、松島 理明、岩田 育子、白井 慎一

(指導医は全員、神経内科専門医かつ総合内科専門医)

2. 研修内容

神経診察手技の習得とそこから得られた結果の意義を理解し、自ら診断・治療計画を立てることができるような屋根瓦式研修をおこないます。
基本的な神経疾患診療から最新の治療まで幅広く経験することが可能です。
研修医セミナー、症例検討会、筋病理カンファレンスが適宜開催されており、研修医が上級医から学ぶ機会を十分に提供する環境が整備されています。

	月	火	水	木	金
午 前	回診 病棟	8:00～9:00 抄読会 9:00～ 総回診	回診 病棟	回診 病棟	回診 病棟
午 後	病棟 16:00～神経放射 線カンファレンス 回診	病棟	病棟 回診	病棟 回診	病棟 回診
備 考	朝回診は8:30～、夕回診は16:00～を基本としています。筋生検（不定期）は8:30～。研修医セミナー（主に火曜日18時～）や症例検討会、筋病理セミナー等が適宜開催されます。				

眼 科

1. 指 導 医

指導責任者：石田 晋

指導医：陳 進輝、南場 研一、野田 航介、新明 康弘、大口 剛司

岩田 大樹、加瀬 諭、水内 一臣、斎藤 理幸

2. 研修内容

外来業務、病棟業務をおこない、眼科医に必要な知識や手技を習得する。
豊富な手術症例に携わり、主に助手としてのスキルを学ぶ。
研修中は頻繁に豚眼にて実際の器具を用いた手術実習をおこない、顕微鏡下で手技を学ぶ。

	月	火	水	木	金
午 前	クルズス 外来	手術	病棟	外来	クルズス 手術
午 後	病棟 夜 カンファ	手術	病棟 14:00 教授回診 夜 カンファ	病棟 病棟医長回診	手術

耳鼻咽喉科

1. 指導医

指導責任者：本間 明宏

指導医：中丸 裕爾、加納 里志、藤原 圭志、溝口 兼司、森田 真也
鈴木 正宣、対馬 那由多

2. 研修内容

まず耳鼻咽喉・頭頸部の所見の取り方を習得してもらいます。外来では新患者の問診をとり、上級医とともに診察、検査を行います。病棟では主治医の一員として担当患者の診察、全身管理を行います。手術では助手として基本的手技を習得した上で、気管切開術など基本的な手術においては上級者の指導のもとで術者として経験できます。カンファレンスでは術前患者の紹介、術後患者の報告を行ってもらいます。

	月	火	水	木	金
午 前	8:00 手術、病棟回診、一般外来	7:30 カンファレンス 8:30 病棟回診、専門外来	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来	7:30 カンファレンス 8:00 手術、病棟回診	8:30 病棟回診、一般外来、専門外来
午 後	手術、病棟業務	14:00 頭頸部カンファレンス 病棟業務	病棟業務	手術、病棟業務	病棟業務

皮 膚 科

1. 指 導 医

指導責任者：清水 宏

指導医：西江 渉、氏家 英之、乃村 俊史、夏賀 健

岩田 浩明、柳 輝希

2. 研修内容

病棟での患者管理 ・チーム医療の一員として、病棟での患者管理に携わり、指導医のものと的確な診療を行う ・各種検査の実践・理解・説明 基本的手術操作の獲得・皮膚外科の基本手技を理解し、真皮および表皮縫合などができる ・植皮を必要とする悪性腫瘍摘出術など様々な手術の助手を経験する 外来診療 ・指導医の皮膚科外来の診療助手を務める					
	月	火	水	木	金
午 前	外来 手術	外来 病棟	外来 手術	総回診 病棟	外来 病棟
午 後	病棟 手術	病棟	病棟 手術 病理ティーチング 医局カンファレンス	特殊外来 (レーザー、乾 癬、皮膚外来、 PUVA) 病棟 研修医プログラム 病理ティーチング	病棟

精神科神経科

1. 指導医

指導責任者：久住 一郎

指導医：賀古 勇輝、伊藤 侯輝、橋本 直樹、三井 信幸、成田 尚
 豊島 邦義、堀之内 徹、宇土 仁木、岡松 彦、前田 珠希
 渡辺 晋也、高信 径介、大柳 有加、磯山 友幸、中村 悠一
 齊藤 卓弥、柳生 一自、須山 聡、中右 麻理子

2. 研修内容

- ・入院患者の担当医：
上級医と一緒に担当（月6名程度）、診療グループでもサポート、疾患が偏らないよう振り分け
長期研修の場合、診療グループは数ヶ月ごとにローテート
- ・外来初診患者の問診と陪席：
問診と初診医の診察見学（1日2名予約）
- ・カンファレンスでの発表：
水・金の朝に入院患者のカンファレンス開催、月・水の夕方にも症例検討会開催
水にリエゾンカンファレンス開催
- ・系統講義：
短期研修向け（1か月）→月7時間、長期研修向け（通年）→年間120時間以上
- ・講演会・研究発表（教室行事）：
毎週水曜日17時から開催

	月	火	水	木	金
午 前	9:30外来問診・陪席	8:30系統講義 （年間） 9:30外来問診・陪席	8:30病棟カンファ 9:30外来問診・陪席	8:30系統講義 （年間） 9:30外来問診・陪席	8:30病棟カンファ 9:30外来問診・陪席
午 後	13:00多職種カン ファ （隔週） 14:00グループ回診 15:00総回診 16:00症例検討会	14:30系統講義 （月1） 16:00系統講義 （月1） 17:00系統講義 （年間）	13:40病棟レク 15:00リエゾンカン ファ 16:00系統講義 （月2） 17:00教室行事	15:00系統講義 （月1） 16:00系統講義 （月2） 17:00系統講義 （年間）	15:00系統講義 （月2） 16:00系統講義 （年間） 17:00系統講義 （年間）

脳神経外科

1. 指導医

指導責任者：中山 若樹

指導医：数又 研、山口 秀、川堀 真人、関 俊隆、長内 俊也

杉山 拓、茂木 洋晃

2. 研修内容

脳血管障害、脳腫瘍、脊髄疾患に加えて機能外科部門を増設してより幅広い神経疾患の外科治療を実際に主治医となり研修していただきます。もちろん習熟度・理解度に応じて切る、縫う、開頭するなど手術にも加わっていただきます。しっかりメンバーとして責任を持って診療に参加してもらうのがモットーです。期間中は希望科にかかわらず脳外科の一メンバーとして研修していただきますので厳しい面もあるかもしれませんが密度の高い時間を過ごせると思います。

	月	火	水	木	金
午 前	朝ミーティング 脳腫瘍班カンファ 手術 創部処置など	朝ミーティング 創部処置など	朝ミーティング 手術 創部処置など	朝ミーティング 小児科腫瘍合同 カンファレンス 創部処置など	朝ミーティング 血管内治療ミー ティング 手術 創部処置など
午 後	手術 放射線カンファ 総回診 夜ミーティング +回診	総回診 イブニングセミ ナー 夜ミーティング +回診	手術 夜ミーティング +回診	夜ミーティング +回診	手術 夜ミーティング +回診
備 考	随時、術前カンファレンスを行います。				

リハビリテーション科

1. 指導医

指導責任者：生駒 一憲

指導医：池田 聡、千葉 春子

2. 研修内容

主に神経筋疾患のリハビリテーション医療について、病棟主治医として運動学的・神経学的評価、神経心理学的評価、嚥下評価、ADL 評価などを行い、リハビリテーション計画を作成、リハビリテーション処方を行う。

	月	火	水	木	金
午 前	カンファレンス 病棟診療 新来見学	病棟診療	6-2 病棟回診 リハ科病棟回診 カンファレンス 医局会	病棟診療 新来見学	病棟診療
午 後	病棟診療 カンファレンス 2-2、9-2、HCU 回診	病棟診療 ボツリヌストキ シン療法	抄読会、 嚥下造影検査 嚥下カンファレンス 合同カンファレンス	病棟診療	病棟診療 嚥下造影検査

産婦人科

1. 指導医

指導責任者：渡利 英道

指導医：工藤 正尊、森川 守、小林 範子、武田 真人、加藤 達矢
金野 陽輔、河口 哲、三田村 卓、千葉 健太郎、馬詰 武
井平 圭、中川 絹子

2. 研修内容

産科（周産期）、婦人科（腫瘍、女性医学）、生殖医学の3分野に分かれて研修します。

3分野全ての研修が理想ですが1分野一ヶ月でも大丈夫です。

産 科	月	火	水	木	金	
8：30～	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	
午 前	病棟妊婦健診	病棟新来手術	病棟妊婦健診	病棟新来妊婦健診	病棟新来手術	
午 後	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	
14：00～	産科ミーティング		勉強会			
16：30～	合同ミーティング					
婦人科	月	火	水	木	金	
8：00～	カンファレンス	手術 病棟	カンファレンス	病棟	手術 病棟	
午 前	病棟新来		病棟新来			
午 後	病棟	病棟	病棟	病棟	手術	
14：00～	放射線カンファレンス	手術				
15：00～	プレゼン準備					
15：00～	プレゼン準備					病棟
16：30～	合同ミーティング	術後管理他			水曜カンファレンス	病棟
17：30～				勉強会	病理カンファレンス	術後管理他

小 児 科

1. 指 導 医

指導責任者：真部 淳

指導医：真部 淳、竹崎 俊一郎、戸澤 雄介、石黒 信久、井口 晶裕
長 祐子、杉山 未奈子、寺下 友佳代、白石 秀明、植田 佑樹
朝比奈 直子、岡本 孝之、佐藤 泰征、林 麻子、高橋 俊行
中村 明枝、山口 健史、武田 充人、山澤 弘洲、阿部 二郎
谷口 宏太、長 和俊、古瀬 優太、池田 雅彦、柳生 一自
(指導医：小児科専門医取得後 5 年以上の医師、以上 25 名)

2. 研修内容

免 疫	免疫班では免疫不全症、リウマチ・膠原病、自己炎症性疾患などの比較的希な疾患を対象としていますが、こうした患者さんの診療を通して生体防御機構を学び、医療現場でしばしば問題となる”不明熱”や”難治性感染症”の考え方を身につけることが出来ます。
血 液	白血病や小児固形腫瘍の診断、化学療法、造血細胞移植の管理を学びます。 日常診療のなかでは点滴確保や骨髄穿刺、腰椎穿刺といった処置も経験できるほか、骨髄標本の読み方の指導も行っています。
循環器	先天性心疾患を中心に新生児から成人までを診療しており、循環管理について学べます。 採血や静脈ライン確保などの手技に加え、希望に応じて心エコーやカテーテルにも触れてもらえます。
内分泌	成長障害・内分泌疾患の診断、治療、検査、遺伝学的検査を研修。 1. 甲状腺疾患（先天性、後天性）2. 下垂体疾患（前葉、後葉）3. 性腺疾患 4. 副腎疾患 5. 骨系統疾患 小児 1 型糖尿病・2 型糖尿病・肥満症の診断、治療の研修 先天性疾患、遺伝性疾患、家族性腫瘍、などの遺伝医療の研修
腎 臓	小児腎臓病全般の診療を行っています。 主な疾患として、ネフローゼ症候群、I g A 腎症、膜性腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎、先天性腎尿路異常、遺伝性腎疾患、ループス腎炎、腎不全などが挙げられます。
神 経	小児神経疾患全般（てんかん、筋疾患、神経変性疾患など）に関して入院・外来での研修を行っています。 また、発達障害、自閉症に関して、主に外来での診療研修を行っています。
新生児	新生児グループでは、正常新生児から出生体重 500g 未満などの成育限界に近いハイリスク新生児までを診療の対象としています。 産科のみならず、小児外科や眼科など多数の診療科と連携して診療に取り組んでいます。
【新患紹介・総回診の日程】 新生児グループ：火曜日午後 0 時半 その他のグループ：水曜日午後 1 時半 *一週間のスケジュールはグループによって異なります	

放射線治療科

1. 指導医

指導責任者：青山 英史

指導医：清水 伸一、鬼丸 力也、橋本 孝之、加藤 徳雄、田口 大志

木下 留美子、安田 耕一、西岡 健太郎、湊川 英樹

2. 研修内容

治 療	放射線治療全般についての研修を行います。具体的には新患の診察、放射線治療計画の作成、放射線治療中の診察を指導医とともにを行います。 放射線治療の対象は原発性脳腫瘍、頭頸部腫瘍、肺癌、乳癌、消化器癌、泌尿器腫瘍、婦人科腫瘍、骨軟部腫瘍、小児腫瘍、悪性リンパ腫、転移性腫瘍等 全身・多岐にわたるため、全身の診察技術に触れる事が出来ます。				
	月	火	水	木	金
午 前	病棟・外来	症例検討カンファレンス 病棟・外来	抄読会 病棟カンファレンス 放射線治療カンファレンス	症例検討カンファレンス 消化器科カンファレンス 病棟・外来	症例検討カンファレンス 病棟 放射線治療中診察
午 後	婦人科カンファレンス 小線源治療 治療計画作成等	頭頸部カンファレンス 病棟症例検討カンファレンス	治療計画作成等	治療計画作成 小線源治療 等	治療計画作成等

放射線診断科

1. 指導医

指導責任者：工藤 興亮

指導医：真鍋 徳子、阿保 大介、加藤 扶美、曾山 武士、真鍋 治
坂本 圭太、菊池 穂香、原田 太以佑、亀田 浩之

2. 研修内容

体幹部、 中枢神経、 IVR（共通）	研修開始時に体幹部、中枢神経、IVR のどれを研修希望かを確認します。研修は 8:30-17:00 まで、体幹部（特に胸部・腹部の CT）・中枢神経グループ（頭部 CT/MRI）はティーチングファイルでの自己学習の後、実際の症例を読影し適宜指導医から読影レポートのチェック・指導を受けます。IVR は朝 8:30 への症例検討会から手技の見学、手伝いをします。研修として、画像検査の適応やモダリティ選択、造影検査の必要性、画像解剖、正常変異や病的所見の検出や記載、病態に応じた記載内容の検討、悪性腫瘍のステージング、鑑別疾患の挙げ方、手技の内容や適応、合併症などを学びます。				
	月	火	水	木	金
午 前	症例カンファレンス（9：30～） 読影	読影	読影	朝カンファレンス（8:00～）、 読影	読影
午 後	読影	読影 症例カンファレンス（16：30～）	読影 症例カンファレンス（16：30～）	読影 症例カンファレンス（16：30～）	読影 症例カンファレンス（16：30～）
備 考	各グループは最大 2 名まで、必要に応じて研修医間で研修の順番や期間を調整して頂く可能性があります。 研修するグループは週単位で調整可能です。				

核医学診療科

1. 指導医

指導責任者：白土 博樹

指導医：白土 博樹、志賀 哲、平田 健司

2. 研修内容

甲状腺癌や Basedow 病に対する I-131 内用療法の適応や有用性について学んでもらう。
F-18 FDG を主体とした PET/CT 検査及び各種 RI 検査の適応、読影方法について学んでもらう。
F-18 FDG 以外の tracer にも触れていただき、興味があれば研究にも加わっていただく。

	月	火	水	木	金
午 前	・ 病棟業務 ・ カンファ	・ 脳PET検査	・ 検査への立会 ・ 読影 PET/CT SPECT	・ 心臓PET検査	・ 検査への立会 ・ 読影 PET/CT SPECT
午 後	・ 教授回診 ・ 病棟業務 ・ 医局会	・ 脳PET検査 ・ 読影	・ 読影 PET/CT シンチ	・ 心臓PET検査 ・ 読影	・ 読影 PET/CT SPECT
備 考	木曜日朝は放射線科との合同カンファに参加してもらう。興味がある方は水曜日朝のリサーチ・カンファレンスに参加してもらう。				

病理診断科

1. 指導医

指導責任者：松野 吉宏

指導医：松野 吉宏、三橋 智子、岡田 宏美、清水 亜衣、高桑 恵美

2. 研修内容

実際の手術検体や生検検体の病理診断の体験を通じ、適切な検体の取り扱いや代表的な疾患の病理所見の診かた、鑑別診断などの思考過程、報告書記載の要点などを学びます。術中迅速診断や細胞診にも触れ、その意義や限界を学びます。また、臨床病理カンファレンス、あるいは地方会などにおけるプレゼンテーションを通じて、病理所見や考察を正しく簡潔に伝えるスキルを学びます。抄読会に参加し、病理診断領域の新しい知識に触れます。

	月	火	水	木	金
午 前	8:30 meeting 9:30 組織検討会	9:30 組織検討会	9:30 組織検討会 11:00 皮膚病理検討会	9:30 組織検討会	8:30 抄読会 9:30 組織検討会
午 後	13:00 細胞診検討会 17:00 リンパ腫系検討会 17:30 TBLBカンファ（隔週） 18:30 胆膵カンファ（1回/月）	13:00 細胞診検討会 17:00 リンパ腫系検討会 17:30 胸部腫瘍キヤンサーボード（1回/月） 18:30 循環器カンファ（1回/3ヶ月）	13:00 細胞診検討会 17:00 リンパ腫系検討会 18:00 乳腺カンファ 18:30 リンパ腫カンファ（1回/月）	13:00 細胞診検討会 13:30 切り出し 17:00 リンパ腫系検討会 17:30 婦人科カンファ 18:00 泌尿器科カンファ	13:00 細胞診検討会 13:30 切り出し 17:00 リンパ腫系検討会 17:30 消化管術前術後カンファ

感染制御部

1. 指 導 医

指導責任者：石黒 信久

2. 研修内容

①血液培養陽性患者に関する診療支援、感染症の診断および治療に関するコンサルテーションを中心に感染症診療の基本を学びます。これらを通して、抗菌薬適正使用に関する基本的な知識、予防接種に関する基礎的な知識、TDMの基本的な考え方等を習得します。
②ICT（Infection Control Team）と共に、院内感染事例の対応、ICT会議やICTラウンドへの参加を通して、感染制御の考え方を習得します。

	月	火	水	木	金
午 前	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討	症例検討
午 後	感染症セミナー	感染症セミナー	ICTラウンドに 同行	感染症セミナー	感染症セミナー

検査・輸血部

1. 指 導 医

指導責任者：杉田 純一

指導医：杉田 純一

現在、初期研修の受入を休止しております

臨床研究開発センター

1. 指導医

指導責任者：佐藤 典宏

指導医：曹 圭龍、高橋 俊行

2. 研修内容

当センターでの研修は臨床研究に関連する以下の実習と講義からなります。

- ①実習：研究実施計画書の評価（模擬的な倫理審査委員会の技術専門員会を体験）
- ②実習：臨床研究のモニタリング研修、及びモニター認定証の発行（試験の合格者）
- ③講義：臨床研究を開始・推進のための基本的な事項の解説
- ④講義：当センターの臨床研究に関する研究支援機能の解説

	月	火	水	木	金
午 前	・ オリエンテーション ・ 研修テーマ設定（試験実施計画書の評価）	・ 講義：シーズ開発と知財戦略 ・ 講義：バイオバンクについて ・ 講義：CPC について	・ 治験・臨床研究の必須文書 ・ 講義：Phase1 試験 ・ 臨床研究データのピットホール	・ 臨床研究モニタリング研修 ・ モニター認定証交付	・ 講義：生物統計 ・ 講義：医学系研究の倫理
午 後	・ 講義：臨床研究 ・ 治験の概要 ・ 研修テーマの実習	・ 研修テーマの実習	・ 研修テーマの実習	・ 講義：臨床研究のCRC支援 ・ 倫理審査委員会への陪席参加（開催される場合）	・ 研修テーマの総括として、試験実施計画書の評価実施（模擬的な「技術専門委員会」の開催）
備 考	当センターの研修は1週間です。				

臨床遺伝子診療部

1. 指導医

指導責任者：矢部 一郎

指導医：長 和俊、河口 哲、三田村 卓、森田 真也、松島 理明子
山澤 弘州、永井 礼子

2. 研修内容

臨床遺伝子診療部では、遺伝診療（検査・診断）やヒトゲノム研究にかかわる遺伝カウンセリングを実施しています。研修期間中は、遺伝カウンセリングや産科遺伝出生前診断外来の見学を通して遺伝診療の一端に触れることができます。また、希望により遺伝学的検査の概要についても研修できます。

	月	火	水	木	金
午 前	オリエンテーション 家系図記載方法	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習	遺伝カウンセリング 実習
午 後	遺伝カウンセリング 実習	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	産科遺伝出生前 診断外来見学	遺伝カウンセリング 実習
備 考	研修期間中に、多領域（産婦人科、小児科、耳鼻科、神経内科、がん遺伝子診断部等）の遺伝診療についてのレクチャー及び定期カンファレンスあり				

超音波センター

1. 指導医

指導責任者：西田 睦

指導医：岩井 孝仁、表原 里実、菊池 桃佳、工藤 悠輔、坂野 稜典
佐藤 恵美、進藤 由衣香、畑瀬 理恵、堀江 達則

2. 研修内容

心エコー以外の領域のエコー研修を行います。実技実習では超音波プローブの持ち方、走査方法、各臓器の描出法などを学んでいただきます。最初はスクリーニング症例、経過観察症例を対象として被検者にあわせた走査方法を習得します。走査法を習得しつつ、症例に合わせた検査の進め方、一般的な疾患の超音波像、所見の捉え方、レポートイング法を学びます。希望により研修対象疾患をある程度限定することも可能です（例：小児科疾患、泌尿器、乳腺、甲状腺などの体表臓器、血管、運動器など）。また他科で研修中で曜日指定などでの超音波室での研修の受け入れも可能です。					
	月	火	水	木	金
午 前	（最初のみオリエンテーション）検査見学、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者検査施行後検査、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック	指導者施行前検査とダブルチェック
午 後	見学と実技実習（毎週19:00～肝カンファレンス、1回/月18:00～乳腺外科カンファレンス、4回/年 関節カンファレンス）	見学と実技実習	指導者検査施行後検査とレポートイング、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポートイング。適宜実技実習（毎週消化器外科II主催胆膵カンファレンス18:30～19:30）	指導者施行前検査とダブルチェックとレポートイング、2周目以降は施行者施行前施行しダブルチェックとレポートイング。適宜実技実習	指導者施行前検査とダブルチェックとレポートイングとレポートイング。適宜実技実習（毎週17:30～18:00消化器病理カンファレンス、1/回 月17:00～18:00 泌尿器科カンファレンス）
備 考	検査が落ち着いた段階で実技実習を行います。できましたらモデルさんは同僚の先生などにお願ひできましたらと思います。また希望があれば毎週木または金曜にポイントレクチャー（胆嚢炎の診断法、虫垂の描出法など）。希望により上記記載の各科カンファレンス出席。おおよその走査法習得の目安：胆嚢のみ2週間、胆嚢肝臓1ヶ月、肝胆膵腎脾2～3ヶ月、消化管を含む腹腔内臓器3ヶ月、DVT 1ヶ月、手指関節2週間など）				

児童精神部門

1. 指導医

指導責任者：齊藤 卓弥

指導医：齊藤 卓弥、柳生 一自、須山 聡、中右 麻理子、前田 珠希

2. 研修内容

本研修では、子どもおよびその親と関係を築き、子どものこころの評価に必要な面接や行動観察について理解することを目指します。児童思春期精神医学分野の主要な疾患についての知識と対応について学ぶことができます。対象疾患は自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、知的能力障害、限局性学習症などの神経発達症、子どものうつ病、双極性障害などの気分の問題、不安症や強迫症といった神経症圏の疾患、また家族や養育機能不全（不適切養育や虐待、ネグレクトなど）です。初期研修医の皆さんには病棟での担当医として上級医の指導を受けてもらう他、外来での診察の予診や心理検査などの陪席、児童精神など精神科領域のクルズス受講、また外部の児童精神関連機関の見学研修を行います。

	月	火	水	木	金
午 前	病棟研修	病棟研修	小児科病棟（血液腫瘍性疾患患児）でのリエゾン回診	児童精神初診外来研修（予診および陪席）	乳幼児検診、幼稚園、児童発達支援施設、児童相談所などの研修
午 後	児童精神分野の抄読会・グループカンファレンス 精神科との合同回診、新患紹介、医局会	本研修では、子どもおよびその親と関係を築き、子どものこころの評価に必要な面接や行動観察について理解することを目指します。児童思春期精神医学分野の主要な疾患についての知識と対応について学ぶことができます。対象疾患は自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、知的能力障害、限局性学習症などの神経発達症、子どものうつ病、双極性障害などの気分の問題、不安症や強迫症といった神経症圏の疾患、また家族や養育機能不全（不適切養育や虐待、ネグレクトなど）です。初期研修医の皆さんには病棟での担当医として上級医の指導を受けてもらう他、外来での診察の予診や心理検査などの陪席、児童精神など精神科領域のクルズス受講、また外部の児童精神関連機関の見学研修を行います。	病棟研修	児童精神クルズス 小児科との合同カンファレンス ペアレントトレーニング	心理検査（陪席）
備 考	- 希望者には月1回行われております児童思春期精神医学セミナーなどのご案内をいたします。 - 不定期で他機関との要保護児童対策協議会などのカンファレンス（児童相談所、教育機関他）を行います。				

募集定員ならびに募集及び採用の方法

1. 募集定員

- ・標準プログラム 34 名
(国際的医療人育成プログラム及び CLARC プログラム (若干名) を含む)
- ・実践産婦人科プログラム 2 名
- ・実践小児科プログラム 2 名

2. 募集方法

- ①募 集 募集定員のすべてをマッチングで募集する。
マッチングで欠員が生じた場合には、マッチング終了後に 2 次募集する。
- ②応募〆切 2020 年 7 月 15 日 (水)
- ③応募書類 医科臨床研修医申請書、国際的医療人育成プログラム 志望理由書 (志望者のみ)
- ④選 考 日 2020 年 8 月 8 日 (土)
- ⑤選考方法 書類審査・面接試験 (WEB 面接もあり)
詳細はホームページに掲載します。
- ⑥採用通知 マッチング結果によりただちに本人に通知する。

3. その他

以下の病院の協力型臨床研修病院として、研修医の受け入れを行うことがある。

市立函館病院

独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター

市立札幌病院

JA 北海道厚生連札幌厚生病院

公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院

医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院

KKR 札幌医療センター

NTT 東日本札幌病院

医療法人 母恋 日鋼記念病院

市立室蘭総合病院

市立旭川病院

JA 北海道厚生連旭川厚生病院

JA 北海道厚生連帯広厚生病院

医療法人王子総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院
砂川市立病院
江別市立病院
社会医療法人北斗 北斗病院
滝川市立病院
苫小牧市立病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院
北見赤十字病院
市立釧路総合病院
留萌市立病院
伊達赤十字病院
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
社会医療法人母恋 天使病院
独立行政法人国立病院機構 函館病院
社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院
深川市立病院
釧路赤十字病院
K K R 札幌医療センター 斗南病院
独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
市立稚内病院
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
JA 北海道厚生連網走厚生病院
恵み野病院
八雲総合病院
小樽市立病院
JA 北海道厚生連倶知安厚生病院

臨床研修協力病院（たすきがけ研修病院）一覧

2020年3月1日現在

病 院 名	住 所	電話番号	F A X
市立函館病院	函館市港町1丁目10番1号	0138-43-2000	0138-43-4434
市立札幌病院	札幌市中央区北11西13-1-1	011-726-2211	011-726-7912
JA 北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5番地	011-261-5331	011-271-5320
(独) 地域医療機能推進機構札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-3000	011-893-4001
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目1-40	011-681-8111	011-685-2998
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	011-890-1110	011-896-2202
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院	札幌市東区北33条東14丁目3-1	011-722-1110	011-723-5631
KKR 札幌医療センター	札幌市豊平区岸平1条6丁目3-40	011-822-1811	011-841-4572
NTT 東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目	011-623-7714	011-623-7527
社会医療法人母恋日鋼記念病院	室蘭市新富町1丁目5-13	0143-24-1331	0143-22-5296
市立旭川病院	旭川市金星町1丁目1番65号	0166-24-3181	0166-24-1125
JA 北海道厚生連旭川厚生病院	旭川市1条通24丁目111番地	0166-33-7171	0166-33-6075
JA 北海道厚生連帯広厚生病院	帯広市西14条南10丁目1番地	0155-65-0101	0155-65-0105
(独) 労働者健康安全機構釧路労災病院	釧路市中園町13番23号	0154-22-7191	0154-25-7308
名寄市立総合病院	名寄市西7条南8丁目1番地	01654-3-3101	01654-2-0567
医療法人王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4番8号	0144-32-8111	0144-32-7119
社会医療法人北楡会札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	011-865-0111	011-865-9719
(独) 地域医療機能推進機構北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	011-831-5151	011-821-3851
社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院	函館市五稜郭町38番3号	0138-51-2295	0138-56-2695
砂川市立病院	砂川市西4条北3丁目1番1号	0125-54-2131	0125-54-0101
江別市立病院	江別市若草町6番地	011-382-5151	011-384-1321
岩見沢市立総合病院	岩見沢市9条7丁目2番地	0126-22-1650	0126-25-0886
滝川市立病院	滝川市大町2丁目2番34号	0125-22-4311	0125-24-6010
苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	0144-33-3131	0144-34-7511
社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	0155-22-6600	0155-24-7076
北見赤十字病院	北見市北6条東2丁目	0157-24-3115	0157-22-3339
市立釧路総合病院	釧路市春湖台1番12号	0154-41-6121	0154-41-4080
伊達赤十字病院	伊達市末永町81番地	0142-23-2211	0142-23-5249
社会福祉法人函館厚生院函館中央病院	函館市本町33番2号	0138-52-1231	0138-54-7520
社会医療法人製鉄記念室蘭病院	室蘭市知利別町1丁目45番地	0143-44-4650	0143-47-4354
社会医療法人母恋天使病院	札幌市東区北12条東3丁目1番1号	011-711-0101	011-751-1708
(独) 労働者健康安全機構 北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目5番地	0126-22-1300	0126-22-1304
(独) 国立病院機構函館病院	函館市川原町18番16号	0138-51-6281	0138-51-6288
社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院	小樽市住ノ江1丁目6番15号	0134-23-6234	0134-33-7752
釧路赤十字病院	釧路市新栄町21番14号	0154-22-7171	0154-24-7880
公益財団法人北海道医療団帯広第一病院	帯広市西4条南15丁目17番地3	0155-25-3121	0155-25-1172
国家公務員共済組合連合会斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	011-231-2121	011-231-5000
旭川赤十字病院	旭川市曙1条1丁目1番1号	0166-22-8111	0166-24-4648
JA 北海道厚生連網走厚生病院	網走市北6西1-9	0152-43-3157	0157-43-6586
小樽市立病院	小樽市若松1丁目1番1号	0134-25-1211	0134-32-6424
社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院	余市郡余市町黒川町19丁目1-1	0135-23-3126	0135-22-6445

臨床研修施設

《病院名（二次医療圏）》

※選択科目に係る研修施設については記載を省略しております。

※一般外来は、内科等の必修科目における外来研修も含めて記載しております。

○北海道大学病院（北海道札幌）

病 院 長：秋田弘俊、病床数 916、指導医数 211 人、診療科数 29

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 滝川市立病院（北海道中空知）指導医数 24 人
- 留萌市立病院（北海道留萌）指導医数 11 人
- 日高德洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人
- 市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人
- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 幌加内町立幌加内診療所（北海道上川中部）指導医数 1 人
- 市比野記念病院（鹿児島県川薩）指導医数 9 人
- 出水郡医師会広域医療センター（鹿児島県出水）指導医数 14 人
- 曾於医師会立病院（鹿児島県曾於）指導医数 7 人
- 肝属郡医師会立病院（鹿児島県肝属）指導医数 7 人
- 公立種子島病院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 大島郡医師会病院（鹿児島県奄美）指導医数 4 人
- 奄美中央病院（鹿児島県奄美）指導医数 2 人
- 薩摩川内市下甕手打診療所（鹿児島県川薩）指導医数 1 人
- 興部町国民健康保険病院（北海道遠紋）指導医数 1 人
- 本別町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 9 人
- 士別市立病院（北海道上川北部）指導医数 4 人
- 町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人
- くにもと病院（北海道上川中部）指導医数 5 人
- 奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人
- 八雲総合病院（北海道北渡島檜山）指導医数 40 人
- 国民健康保険東川町立診療所（北海道上川中部）指導医数 2 人
- 函館新都市病院（北海道南渡島）指導医数 3 人
- 倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人
- 浦河赤十字病院（北海道日高）指導医数 11 人
- 北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人
- 鹿追町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 4 人

- 栗山赤十字病院（北海道南空知）指導医数 5 人
- 更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人
- 南湊会宮上病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- サザン・リージョン病院（鹿児島県南薩）指導医数 4 人
- 種子島医療センター（鹿児島県熊毛）指導医数 13 人
- 寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人
- 小笠原記念札幌病院（北海道札幌）指導医数 2 人
- 小林市立病院（宮崎県西諸）指導医数 6 人
- 恒心会おぐら病院（鹿児島県肝属）指導医数 7 人
- 黒松内町国保くろまつないブナの森診療所（北海道後志）指導医数 2 人
- 種子島産婦人科医院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 枕崎市立病院（鹿児島県南薩）指導医数 1 人
- 栄町ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人
- 向陽台ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人
- 美幌町立国民健康保険病院（北海道北網）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 滝川市立病院（北海道中空知）指導医数 24 人
- 留萌市立病院（北海道留萌）指導医数 11 人
- 日高德洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人
- 市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人
- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 幌加内町立幌加内診療所（北海道上川中部）指導医数 1 人
- 市比野記念病院（鹿児島県川薩）指導医数 9 人
- 出水郡医師会広域医療センター（鹿児島県出水）指導医数 14 人
- 曾於医師会立病院（鹿児島県曾於）指導医数 7 人
- 肝属郡医師会立病院（鹿児島県肝属）指導医数 7 人
- 公立種子島病院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 大島郡医師会病院（鹿児島県奄美）指導医数 4 人
- 奄美中央病院（鹿児島県奄美）指導医数 2 人
- 薩摩川内市下甕手打診療所（鹿児島県川薩）指導医数 1 人
- 興部町国民健康保険病院（北海道遠紋）指導医数 1 人
- 本別町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 9 人
- 士別市立病院（北海道上川北部）指導医数 4 人
- 町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人
- くにもと病院（北海道上川中部）指導医数 5 人

- 奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人
- 八雲総合病院（北海道北渡島檜山）指導医数 40 人
- 国民健康保険東川町立診療所（北海道上川中部）指導医数 2 人
- 函館新都市病院（北海道南渡島）指導医数 3 人
- 倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人
- 浦河赤十字病院（北海道日高）指導医数 11 人
- 北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人
- 鹿追町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 4 人
- 栗山赤十字病院（北海道南空知）指導医数 5 人
- 更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人
- 南溟会宮上病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- サザン・リージョン病院（鹿児島県南薩）指導医数 4 人
- 種子島医療センター（鹿児島県熊毛）指導医数 13 人
- 寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人
- 小笠原記念札幌病院（北海道札幌）指導医数 2 人
- 小林市立病院（宮崎県西諸）指導医数 6 人
- 恒心会おぐら病院（鹿児島県肝属）指導医数 7 人
- 黒松内町国保くろまつないブナの森診療所（北海道後志）指導医数 2 人
- 種子島産婦人科医院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 枕崎市立病院（鹿児島県南薩）指導医数 1 人
- 栄町ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人
- 向陽台ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人
- 美幌町立国民健康保険病院（北海道北網）指導医数 1 人

たすきがけ研修病院

○市立函館病院（北海道南渡島）

病 院 長：森下 清文、病床数 582、指導医数 47 人、診療科数 27

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人
- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 国立病院機構八雲病院（北海道北渡島檜山）指導医数 2 人
- 市立函館南茅部病院（北海道南渡島）指導医数 1 人
- 市立函館恵山病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

【産婦人科研修施設】

○八雲総合病院（北海道北渡島檜山）指導医数 40 人

【精神科研修施設】

○八雲総合病院（北海道北渡島檜山）指導医数 40 人

【一般外来研修施設】

○奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○国立病院機構八雲病院（北海道北渡島檜山）指導医数 2 人

○市立函館南茅部病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○市立函館恵山病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○市立札幌病院（北海道札幌）

病 院 長：向井 正也、病床数 626、指導医数 64 人、診療科数 31

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人

○利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○市立根室病院（北海道根室）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人

○利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○市立根室病院（北海道根室）指導医数 1 人

○札幌厚生病院（北海道札幌）

病 院 長：狩野 吉康、病床数 519、指導医数 110 人、診療科数 26

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

○帯広厚生病院（北海道十勝）指導医数 82 人

【地域医療研修施設】

○むかわ町鵲川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人

○美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人

○常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人

○摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○大谷地病院（北海道札幌）指導医数 2 人

【一般外来研修施設】

- むかわ町鷗川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人
- 美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人
- 常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- 札幌厚生病院共済クリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

○ JCHO 札幌北辰病院（北海道札幌）

病 院 長：高橋 昌宏、病床数 276、指導医数 49 人、診療科数 23

研修内容：内科、救急、外科、小児科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 美幌町立国民健康保険病院（北海道北網）指導医数 1 人

【産婦人科研修施設】

- JCHO 北海道病院（北海道札幌）指導医数 46 人

【精神科研修施設】

- 大谷地病院（北海道札幌）指導医数 2 人

【一般外来研修施設】

- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 美幌町立国民健康保険病院（北海道北網）指導医数 1 人

○手稲溪仁会病院病院（北海道札幌）

病 院 長：成田 吉明、病床数 640、指導医数 58 人、診療科数 34

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【内科研修施設】

- あさひ町南大通クリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

【地域医療研修施設】

- 倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人
- 北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

【精神科研修施設】

- 耕仁会札幌太田病院（北海道札幌）指導医数 3 人
- 平松記念病院（北海道札幌）指導医数 7 人
- 五稜会病院（北海道札幌）指導医数 3 人

○澤山会手稲病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○あさひ町南大通クリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

○札幌徳洲会病院（北海道札幌）

病 院 長：奥山 淳、病床数 301、指導医数 54 人、診療科数 23

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、自由選択科

【内科研修施設】

○おおあさクリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

○札幌北 14 条クリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

【地域医療研修施設】

○共愛会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○大谷地病院（北海道札幌）指導医数 2 人

【一般外来研修施設】

○共愛会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○おおあさクリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

○札幌北 14 条クリニック（北海道札幌）指導医数 1 人

○札幌東徳洲会病院（北海道札幌）

病 院 長：太田 智之、病床数 325、指導医数 48 人、診療科数 25

研修内容：内科、救急、外科、小児科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○徳之島徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人

○名瀬徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人

○日高徳洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人

○帯広徳洲会病院（北海道十勝）指導医数 1 人

○共愛会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○大隅鹿屋病院（鹿児島県肝属）指導医数 1 人

○新庄徳洲会病院（山形県最上）指導医数 1 人

○山北徳洲会病院（新潟県下越）指導医数 1 人

○喜界徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人

○瀬戸内徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人

- 屋久島徳洲会病院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 沖永良部徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 与論徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 宮古島徳洲会病院（沖縄県宮古）指導医数 1 人
- 皆野病院（埼玉県秩父）指導医数 1 人
- 笠利病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 石垣島徳洲会病院（沖縄県八重山）指導医数 1 人
- 山川病院（鹿児島県南薩）指導医数 1 人

【産婦人科研修施設】

- 名寄市立総合病院（北海道上川北部）指導医数 26 人
- 札幌東豊病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

- 札幌佐藤病院（北海道札幌）指導医数 2 人
- 札幌トロイカ病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 徳之島徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 名瀬徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 日高徳洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人
- 帯広徳洲会病院（北海道十勝）指導医数 1 人
- 共愛会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人
- 大隅鹿屋病院（鹿児島県肝属）指導医数 1 人
- 新庄徳洲会病院（山形県最上）指導医数 1 人
- 山北徳洲会病院（新潟県下越）指導医数 1 人
- 喜界徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 瀬戸内徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 屋久島徳洲会病院（鹿児島県熊毛）指導医数 1 人
- 沖永良部徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 与論徳洲会病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 宮古島徳洲会病院（沖縄県宮古）指導医数 1 人
- 皆野病院（埼玉県秩父）指導医数 1 人
- 笠利病院（鹿児島県奄美）指導医数 1 人
- 石垣島徳洲会病院（沖縄県八重山）指導医数 1 人
- 山川病院（鹿児島県南薩）指導医数 1 人

○KKR 札幌医療センター（北海道札幌）

病 院 長：磯部 宏、病床数 410、指導医数 61 人、診療科数 22

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人
- 静明館診療所（北海道札幌）指導医数 3 人
- 済生会小樽病院（北海道後志）指導医数 17 人
- 北広島病院（北海道札幌）指導医数 2 人
- 函館市医師会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

- 平松記念病院（北海道札幌）指導医数 7 人

【一般外来研修施設】

- 町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人
- 静明館診療所（北海道札幌）指導医数 3 人
- 済生会小樽病院（北海道後志）指導医数 17 人
- 北広島病院（北海道札幌）指導医数 2 人
- 函館市医師会病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○NTT 東日本札幌病院（北海道札幌）

病 院 長：吉岡 成人、病床数 301、指導医数 66 人、診療科数 21

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

- 柏葉脳神経外科病院（北海道札幌）指導医数 6 人
- 医仁会中村記念病院（北海道札幌）指導医数 27 人

【地域医療研修施設】

- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 国民健康保険東川町立診療所（北海道上川中部）指導医数 2 人
- 北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

【外科研修施設】

- 柏葉脳神経外科病院（北海道札幌）指導医数 6 人
- 医仁会中村記念病院（北海道札幌）指導医数 27 人

【精神科研修施設】

- 耕仁会札幌太田病院（北海道札幌）指導医数 66 人

【一般外来研修施設】

- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 国民健康保険東川町立診療所（北海道上川中部）指導医数 2 人
- 北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○日鋼記念病院（北海道西胆振）

病 院 長：柳谷 晶仁、病床数 479、指導医数 25 人、診療科数 24

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【内科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人
- 北晨会恵み野病院（北海道札幌）指導医数 27 人

【救急部門研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

【地域医療研修施設】

- 日高徳洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人
- 置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

【外科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人
- 大川原脳神経外科病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

【小児科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

【産婦人科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

【精神科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○友愛会恵愛病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

○天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

○千寿会三愛病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

【一般外来研修施設】

○天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

○日高德洲会病院（北海道日高）指導医数 4 人

○置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人

○利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○北農会恵み野病院（北海道札幌）指導医数 27 人

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○大川原脳神経外科病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

○町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人

○清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

○市立旭川病院（北海道上川中部）

病 院 長：子野日 政昭、病床数 478、指導医数 59 人、診療科数 23

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

【産婦人科研修施設】

○旭川厚生病院（北海道上川中部）指導医数 86 人

【一般外来研修施設】

○枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○旭川厚生病院（北海道上川中部）

病 院 長：森 達也、病床数 539、指導医数 86 人、診療科数 24

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○むかわ町鶴川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人

○美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人

○常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人

○摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

○サンビレッジクリニック（北海道上川中部）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○旭川圭泉会病院（北海道上川中部）指導医数 7 人

【一般外来研修施設】

- むかわ町鷗川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人
- 美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人
- 常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- サンビレッジクリニック（北海道上川中部）指導医数 1 人

○帯広厚生病院（北海道十勝）

病 院 長：菊池 英明、病床数 651、指導医数 82 人、診療科数 24

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- 十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- 十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

○釧路労災病院（北海道釧路）

病 院 長：高橋 弘昌、病床数 450、指導医数 19 人、診療科数 17

研修内容：内科、救急、外科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人
- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

【小児科研修施設】

- 市立釧路総合病院（北海道釧路）指導医数 24 人
- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

【産婦人科研修施設】

- 市立釧路総合病院（北海道釧路）指導医数 24 人
- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

【精神科研修施設】

- 市立釧路総合病院（北海道釧路）指導医数 24 人
- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

【一般外来研修施設】

- 市立釧路総合病院（北海道釧路）指導医数 24 人

○釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

○町立中標津病院（北海道根室）指導医数 6 人

○町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人

○摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

○名寄市立総合病院（北海道上川北部）

病 院 長：和泉 裕一、病床数 359、指導医数 26 人、診療科数 22

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○幌加内町立幌加内診療所（北海道上川中部）指導医数 1 人

○名寄市風連町国民健康保険診療所（北海道上川北部）指導医数 1 人

○枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人

○中頓別町国保病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○士別市立病院（北海道上川北部）指導医数 4 人

【一般外来研修施設】

○幌加内町立幌加内診療所（北海道上川中部）指導医数 1 人

○名寄市風連町国民健康保険診療所（北海道上川北部）指導医数 1 人

○枝幸町国民健康保険病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人

○中頓別町国保病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○士別市立病院（北海道上川北部）指導医数 4 人

○王子総合病院（北海道東胆振）

病 院 長：大岩 均、病床数 440、指導医数 44 人、診療科数 20

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○勤医協苫小牧病院（北海道東胆振）指導医数 1 人

○むかわ町国民健康保険穂別診療所（北海道東胆振）指導医数 3 人

○日高町立門別国民健康保険病院（北海道日高）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○道央佐藤病院（北海道東胆振）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○勤医協苫小牧病院（北海道東胆振）指導医数 1 人

○むかわ町国民健康保険穂別診療所（北海道東胆振）指導医数 3 人

○日高町立門別国民健康保険病院（北海道日高）指導医数 1 人

○札幌北楡病院（北海道札幌）

病 院 長：目黒 順一、病床数 281、指導医数 11 人、診療科数 14

研修内容：内科、救急、外科、小児科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人

【産婦人科研修施設】

○札幌東豊病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○長野病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○市立稚内病院（北海道宗谷）指導医数 15 人

○JCHO 北海道病院（北海道札幌）

病 院 長：古家 乾、病床数 358、指導医数 46 人、診療科数

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【内科研修施設】

○JCHO 札幌北辰病院（北海道札幌）指導医数 49 人

○北海道循環器病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【救急部門研修施設】

○勤医協中央病院（北海道札幌）指導医数 47 人

【地域医療研修施設】

○倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人

○JCHO 登別病院（北海道西胆振）指導医数 1 人

○西岡病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○平松記念病院（北海道札幌）指導医数 7 人

○五稜会病院（北海道札幌）指導医数 3 人

【一般外来研修施設】

○北海道循環器病院（北海道札幌）指導医数 1 人

○倶知安厚生病院（北海道後志）指導医数 21 人

○JCHO 登別病院（北海道西胆振）指導医数 1 人

○西岡病院（北海道札幌）指導医数 1 人

○函館五稜郭病院（北海道南渡島）

病 院 長：中田 智明、病床数 480、指導医数 48 人、診療科数 26

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○ななえ新病院（北海道南渡島）指導医数 2 人

○北海道立江差病院（北海道南渡島）指導医数 5 人

【外科研修施設】

○函館脳神経外科病院（北海道南渡島）指導医数 1 人

○函館新都市病院（北海道南渡島）指導医数 5 人

【小児科研修施設】

○市立函館病院（北海道南渡島）指導医数 47 人

○函館中央病院（北海道南渡島）指導医数 23 人

【精神科研修施設】

○函館渡辺病院（北海道南渡島）指導医数 4 人

【一般外来研修施設】

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○函館新都市病院（北海道南渡島）指導医数 5 人

○北海道立江差病院（北海道南渡島）指導医数 5 人

○砂川市立病院（北海道中空知）

病 院 長：田口 宏一、病床数 498、指導医数 42 人、診療科数 24

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○あかびら市立病院（北海道中空知）指導医数 1 人

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○奈井江町立国民健康保険病院（北海道中空知）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○あかびら市立病院（北海道中空知）指導医数 1 人

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○奈井江町立国民健康保険病院（北海道中空知）指導医数 1 人

○江別市立病院（北海道札幌）

病 院 長：富山 光広、病床数 337、指導医数 35 人、診療科数 22

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人
- 寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- 更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人
- 寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

○岩見沢市立総合病院（北海道南空知）

病 院 長：小倉 滋明、病床数 484、指導医数 26 人、診療科数 15

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 東町ファミリー・クリニック（北海道南空知）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 東町ファミリー・クリニック（北海道南空知）指導医数 1 人

○滝川市立病院（北海道中空知）

病 院 長：堤 明人、病床数 314、指導医数 24 人、診療科数 13

研修内容：内科、救急、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

○苫小牧市立病院（北海道東胆振）

病 院 長：松岡 伸一、病床数 382、指導医数 22 人、診療科数 21

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- むかわ町国民健康保険穂別診療所（北海道東胆振）指導医数 3 人
- 日高町立門別国民健康保険病院（北海道日高）指導医数 1 人
- 気仙沼本吉病院（宮城県石巻・登米・気仙沼）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

- 苫小牧緑ヶ丘病院（北海道東胆振）指導医数 1 人
- 植苗病院（北海道東胆振）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- むかわ町国民健康保険穂別診療所（北海道東胆振）指導医数 3 人

○日高町立門別国民健康保険病院（北海道日高）指導医数 1 人

○気仙沼本吉病院（宮城県石巻・登米・気仙沼）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会帯広病院（北海道十勝）

病 院 長：阿部 厚憲、病床数 300、指導医数 30 人、診療科数 18

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○本輪西ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 2 人

○国民健康保険上川医療センター（北海道上川中部）指導医数 2 人

○北海道社会事業協会岩内病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○鹿追町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 4 人

○更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人

○寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

○十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

○北星ファミリークリニック（北海道上川中部）指導医数 1 人

○栄町ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人

○若草ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

○本輪西ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 2 人

○国民健康保険上川医療センター（北海道上川中部）指導医数 2 人

○北海道社会事業協会岩内病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○鹿追町国民健康保険病院（北海道十勝）指導医数 4 人

○更別村国民健康保険診療所（北海道十勝）指導医数 2 人

○寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

○十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

○北星ファミリークリニック（北海道上川中部）指導医数 1 人

○栄町ファミリークリニック（北海道札幌）指導医数 2 人

○若草ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 1 人

○北見赤十字病院（北海道北網）

病 院 長：荒川 穰二、病床数 532、指導医数 11 人、診療科数 24

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 北海道立北見病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 本間内科医院（北海道北網）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 北海道立北見病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 本間内科医院（北海道北網）指導医数 1 人

○市立釧路総合病院（北海道釧路）

病 院 長：高平 真、病床数 643、指導医数 24 人、診療科数 29

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- 町立別海病院（北海道根室）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- 町立厚岸病院（北海道釧路）指導医数 2 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人
- 町立別海病院（北海道根室）指導医数 1 人

○伊達赤十字病院（北海道西胆振）

病 院 長：武智 茂、病床数 374、指導医数 18 人、診療科数 17

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

- 北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人
- 旭川赤十字病院（北海道上川中部）指導医数 74 人

【地域医療研修施設】

- ひまわりクリニックきょうごく（北海道後志）指導医数 1 人
- いぶり腎泌尿器科クリニック（北海道西胆振）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- ひまわりクリニックきょうごく（北海道後志）指導医数 1 人
- いぶり腎泌尿器科クリニック（北海道西胆振）指導医数 1 人

○函館中央病院（北海道南渡島）

病 院 長：本橋 雅壽、病床数 527、指導医数 23 人、診療科数 25

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○ななえ新病院（北海道南渡島）指導医数 2 人

【精神科研修施設】

○函館渡辺病院（北海道南渡島）指導医数 4 人

【一般外来研修施設】

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○ななえ新病院（北海道南渡島）指導医数 2 人

○製鉄記念室蘭病院（北海道西胆振）

病 院 長：前田 征洋、病床数 347、指導医数 34 人、診療科数 25

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○本輪西ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 2 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡嘉敷診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属阿嘉診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡名喜診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属栗国診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属北大東診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属南大東診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属座間味診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○友愛会恵愛病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

○伊達赤十字病院（北海道西胆振）指導医数 18 人

○千寿会三愛病院（北海道西胆振）指導医数 2 人

【一般外来研修施設】

○本輪西ファミリークリニック（北海道西胆振）指導医数 2 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡嘉敷診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属阿嘉診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡名喜診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属栗国診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人

- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属北大東診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属南大東診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属座間味診療所（沖縄県南部）指導医数 1 人
- 寿都町立寿都診療所（北海道後志）指導医数 1 人

○天使病院（北海道）

病 院 長：西村 光弘、病床数 260、指導医数 40 人、診療科数 20

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【内科研修施設】

- 勤医協中央病院（北海道札幌）指導医数 47 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人

【救急部門研修施設】

- 勤医協中央病院（北海道札幌）指導医数 47 人
- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人

【地域医療研修施設】

- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

【外科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人

【小児科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人

【産婦人科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人

【精神科研修施設】

- 北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人
- 中江病院（北海道札幌）指導医数 4 人

【一般外来研修施設】

- 勤医協中央病院（北海道札幌）指導医数 47 人
- 日鋼記念病院（北海道西胆振）指導医数 25 人
- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○北海道中央労災病院（北海道南空知）

病 院 長：大塚 義紀、病床数 199、指導医数 8 人、診療科数 11

研修内容：内科、救急、外科、一般外来、自由選択科

○国立病院機構函館病院（北海道南渡島）

病 院 長：加藤 元嗣、病床数 305、指導医数 20 人、診療科数 16

研修内容：内科、外科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

○国立病院機構仙台医療センター（宮城県仙台）指導医数 89 人

【地域医療研修施設】

○奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人

○国立病院機構八雲病院（北海道北渡島檜山）指導医数 2 人

○せたな町立国保病院（北海道北渡島檜山）指導医数 1 人

【小児科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

【産婦人科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

【精神科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○函館渡辺病院（北海道南渡島）指導医数 4 人

○国立病院機構北海道医療センター（北海道札幌）指導医数 82 人

【一般外来研修施設】

○国立病院機構仙台医療センター（宮城県仙台）指導医数 89 人

○奥尻町国民健康保険病院（北海道南檜山）指導医数 1 人

○国立病院機構八雲病院（北海道北渡島檜山）指導医数 2 人

○せたな町立国保病院（北海道北渡島檜山）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会小樽病院（北海道後志）

病 院 長：柿木 滋夫、病床数 240、指導医数 6 人、診療科数 14

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

○小樽市立病院（北海道後志）指導医数 29 人

【地域医療研修施設】

○東小樽病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

【精神科研修施設】

○小樽市立病院（北海道後志）指導医数 29 人

【一般外来研修施設】

○東小樽病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○釧路赤十字病院（北海道釧路）

病 院 長：山口 辰美、病床数 489、指導医数 16 人、診療科数 16

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

○釧路労災病院（北海道釧路）指導医数 19 人

○北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人

○旭川赤十字病院（北海道上川中部）指導医数 74 人

○釧路市夜間急病センター（北海道釧路）指導医数 1 人

【地域医療研修施設】

○小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人

○清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人

【一般外来研修施設】

○小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人

○清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

○帯広第一病院（北海道十勝）

病 院 長：山並 秀章、病床数 230、指導医数 19 人、診療科数 14

研修内容：内科、救急、外科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

【小児科研修施設】

○帯広厚生病院（北海道十勝）指導医数 82 人

【一般外来研修施設】

○帯広厚生病院（北海道十勝）指導医数 82 人

○十勝いけだ地域医療センター（北海道十勝）指導医数 1 人

○斗南病院（北海道札幌）

病 院 長：奥芝 俊一、病床数 283、指導医数 36 人、診療科数 27

研修内容：内科、救急、外科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【内科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

【救急部門研修施設】

○医仁会中村記念病院（北海道札幌）指導医数 27 人

【地域医療研修施設】

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

【小児科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

【産婦人科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○札幌東豊病院（北海道札幌）指導医数 1 人

【精神科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○五稜会病院（北海道札幌）指導医数 3 人

【一般外来研修施設】

○天使病院（北海道札幌）指導医数 40 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○旭川赤十字病院（北海道上川中部）

病 院 長：牧野 憲一、病床数 520、指導医数 74 人、診療科数 27

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【地域医療研修施設】

○留萌市立病院（北海道留萌）指導医数 11 人

○置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人

○利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人

○小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人

○礼文町国保船泊診療所（北海道宗谷）指導医数 1 人

○松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人

○くにもと病院（北海道上川中部）指導医数 5 人

○清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

【小児科研修施設】

- 旭川厚生病院（北海道上川中部）指導医数 86 人
- 北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人
- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

【産婦人科研修施設】

- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人

【精神科研修施設】

- 北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人
- 旭川圭泉会病院（北海道上川中部）指導医数 7 人

【一般外来研修施設】

- 旭川厚生病院（北海道上川中部）指導医数 86 人
- 北見赤十字病院（北海道北網）指導医数 11 人
- 留萌市立病院（北海道留萌）指導医数 11 人
- 釧路赤十字病院（北海道釧路）指導医数 16 人
- 置戸赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 利尻島国保中央病院（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 小清水赤十字病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 礼文町国保船泊診療所（北海道宗谷）指導医数 1 人
- 松前町立松前病院（北海道南渡島）指導医数 7 人
- くにもと病院（北海道上川中部）指導医数 5 人
- 慶友会吉田病院（北海道上川中部）指導医数 1 人
- 清水赤十字病院（北海道十勝）指導医数 1 人

○網走厚生病院（北海道北網）

病 院 長：中野 詩朗、病床数 347、指導医数 14 人、診療科数 13

研修内容：内科、外科、小児科、産婦人科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

- 帯広厚生病院（北海道十勝）指導医数 82 人

【地域医療研修施設】

- むかわ町鵲川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人
- 美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人
- 常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人
- 摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

【一般外来研修施設】

- むかわ町鵲川厚生病院（北海道東胆振）指導医数 3 人

○美深厚生病院（北海道上川北部）指導医数 1 人

○常呂厚生病院（北海道北網）指導医数 1 人

○摩周厚生病院（北海道釧路）指導医数 1 人

○小樽市立病院（北海道後志）

病 院 長：信野 祐一郎、病床数 388、指導医数 29 人、診療科数 26

研修内容：内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来、自由選択科

【救急部門研修施設】

○小樽市夜間急病センター（北海道後志）指導医数 1 人

【地域医療研修施設】

○東小樽病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○朝里中央病院（北海道後志）指導医数 1 人

【産婦人科研修施設】

○北海道大学病院（北海道札幌）指導医数 211 人

○小樽協会病院（北海道後志）指導医数 29 人

【一般外来研修施設】

○東小樽病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）指導医数 2 人

○朝里中央病院（北海道後志）指導医数 1 人

○北海道社会事業協会余市病院（北海道後志）

病 院 長：吉田 秀明、病床数 170、指導医数 2 人、診療科数 11

研修内容：内科、救急、地域医療、外科、一般外来、自由選択科

2. 研修達成目標（研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

研修医評価票Ⅰ

「A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ～ 年 月 日

指導医 氏名 _____

記載日 年 月 日

	レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待 通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会 なし
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供および公衆衛生の向上に努める。	☐	☐	☐	☐	☐
A-2. 利他的な態度 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	☐	☐	☐	☐	☐
A-3. 人間性の尊重 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	☐	☐	☐	☐	☐
A-4. 自らを高める姿勢 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	☐	☐	☐	☐	☐
A-5. 印象に残るエピソードがあれば記述してください。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。					

※「期待」とは「研修修了時に期待される状態」とする。

研修医評価票Ⅱ

「B. 資質・能力」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ～ 年 月 日

指導医 氏名 _____

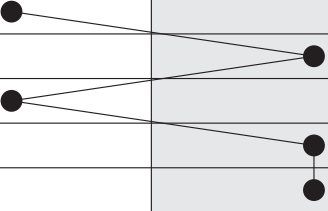
記載日 年 月 日

記入の仕方

《レベルの説明》

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
医学部卒業時に修得しているレベル (モデル・コア・カリキュラム相当)	臨床研修の中途時点で期待されるレベル	臨床研修の終了時点で到達すべきレベル (到達目標相当)	他者のモデルになり得るレベル

《評価のイメージ図》

評価項目						
レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4			
						
						
☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐
☐ 観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-1. 医学・医療における倫理性

診察、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4
■医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームド Consent とインフォームド アセントなどの意義と必要性を説明できる。 ■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	モデルとなる行動を他者に示す。
	患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。	患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	モデルとなる行動を他者に示す。
	倫理的ジレンマの存在を認識する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。
	利益相反の存在を認識する。	利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	モデルとなる行動を他者に示す。
	診察、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	診察、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	モデルとなる行動を他者に示す。
☐	☐	☐	☐

☐ 観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名

B-2. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4
■ 必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。 ■ 講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。	頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。	頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。	主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。
	基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。	患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。
	保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。	保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。

☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐

☐ 観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-3. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4
■必要最低限の病歴 を聴取し、網羅的に 系統立てて、身体診 察を行うことができ る。 ■基本的な臨床技能 を理解し、適切な態 度で診断治療を行う ことができる。 ■問題志向型医療記 録形式で診療録を作 成し、必要に応じて 医療文書を作成でき る。 ■緊急を要する病態、 慢性疾患に関して説 明ができる。 	必要最低限の患者の健 康状態に関する情報を 心理・社会的側面を含 めて安全に収集する。	患者の健康状態に関する情 報を、心理・社会的側面を 含めて、効果的かつ安全に 収集する。	複雑な症例において、患者 の健康に関する情報を心理・ 社会的側面を含めて、効果 的かつ安全に収集する。
	基本的な疾患の最適な 治療を安全に実施する。	患者の状態に合わせた、最 適な治療を安全に実施する。	複雑な疾患の最適な治療を 患者の状態に合わせて安全 に実施する。
	最低限必要な情報を含 んだ診療内容とその根 拠に関する医療記録や 文書を、適切に作成す る。	診療内容とその根拠に関す る医療記録や文書を、適切 かつ遅滞なく作成する。	必要かつ十分な診療内容と その根拠に関する医療記録 や文書を、適切かつ遅滞な く作成でき、記載の模範を 示せる。
☐	☐	☐	☐
☐ 観察する機会が無かった			
コメント：			

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-4. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4
■ コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。 ■ 良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。 ■ 患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。 ■ 患者の要望への対処の仕方を説明できる。	最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。	適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。
	患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。	患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。
	患者や家族の主要なニーズを把握する。	患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。
☐	☐	☐	☐
☐ 観察する機会が無かった			
コメント：			

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-5. チーム医療の実践						
医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。						
レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2		レベル 3 研修終了時で期待されるレベル		レベル 4	
■ チーム医療の意義を説明でき、(学生として)チームの一員として診療に参加できる。 ■ 自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。 ■ チーム医療における医師の役割を説明できる。	単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。		医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。		複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。	
	単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。		チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。		チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐ 観察する機会が無かった						
コメント：						

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-6. 医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4
■医療事故の防止 において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 ■医療現場における報告・連絡・相談 の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。 ■医療安全管理体制 の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。	医療の質と患者安全の重要性を理解する。	医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。
	日常業務において、適切な頻度で、報告・連絡・相談ができる。	日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。
	一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。	医療事故等の予防と事後の対応を行う。	非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。
	医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。	自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。
☐	☐	☐	☐

☐観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-7. 社会における医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4
■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 ■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 ■災害医療を説明できる。 ■(学生として) 地域医療に積極的に参加・貢献する。	保健医療に関する法規・制度を理解する。	保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。
	健康保険、公費負担医療の制度を理解する。	医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。	健康保険、公費負担医療の適用の可否を判断し、適切に活用する。
	地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。
	予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。	予防医療・保健・健康増進に努める。	予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。
	地域包括ケアシステムを理解する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。
	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を想定し、組織的な対応を主導する実際に対応する。
☐	☐	☐	☐

☐ 観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4
■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。 ■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	医療上の疑問点を認識する。	医療上の疑問点を研究課題に変換する。	医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。
	科学的研究方法を理解する。	科学的研究方法を理解し、活用する。	科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。
	臨床研究や治験の意義を理解する。	臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。
☐	☐	☐	☐

☐観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅱ

研修医 氏名 _____

B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

レベル 1 モデル・コア・カリキュラム	レベル 2	レベル 3 研修終了時で期待されるレベル	レベル 4
■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。	急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。	急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。
	同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。
	国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。	国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握する。	国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握し、実臨床に活用する。
☐	☐	☐	☐

☐ 観察する機会が無かった

コメント：

研修医評価票Ⅲ

「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修医 氏名 _____

研修分野・診療科 _____

研修期間 年 月 日 ～ 年 月 日

指導医 氏名 _____

記載日 年 月 日

	レベル1 指導医の 直接の監 督の下で できる	レベル2 指導医が すぐに対 応できる 状況下で できる	レベル3 ほぼ単独 でできる	レベル4 後進を指 導できる	観察 機会 なし
C-1. 一般外来診療 頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。	☐	☐	☐	☐	☐
C-2. 病棟診療 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。	☐	☐	☐	☐	☐
C-3. 初期救急対応 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。	☐	☐	☐	☐	☐
C-4. 地域医療 地域医療の特性および地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。	☐	☐	☐	☐	☐
C-5. 印象に残るエピソードがあれば記述してください。					

修了時

臨床研修の目標の達成度判定票

研修医 氏名

到達目標	達成状況 既達／未達	備考
A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）		
1. 社会的使命と公衆衛生への寄与	☐ 既 ☐ 未	
2. 利他的な態度	☐ 既 ☐ 未	
3. 人間性の尊重	☐ 既 ☐ 未	
4. 自らを高める姿勢	☐ 既 ☐ 未	
B. 資質・能力		
1. 医学・医療における倫理性	☐ 既 ☐ 未	
2. 医学知識と問題対応能力	☐ 既 ☐ 未	
3. 診療技能と患者ケア	☐ 既 ☐ 未	
4. コミュニケーション能力	☐ 既 ☐ 未	
5. チーム医療の実践	☐ 既 ☐ 未	
6. 医療の質と安全の管理	☐ 既 ☐ 未	
7. 社会における医療の実践	☐ 既 ☐ 未	
8. 科学的探究	☐ 既 ☐ 未	
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	☐ 既 ☐ 未	
C. 基本的診療業務		
1. 一般外来診療	☐ 既 ☐ 未	
2. 病棟診療	☐ 既 ☐ 未	
3. 初期救急対応	☐ 既 ☐ 未	
4. 地域医療	☐ 既 ☐ 未	
臨床研修の目標の達成状況	☐ 既 ☐ 未	
(臨床研修の目標の達成に必要な条件等)		

年 月 日

北海道大学病院 初期臨床研修プログラム責任者

平野 聡

3. 臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院における臨床研修医の医療行為に関する基準

北海道大学病院

平成 16 年 5 月 10 日制定

平成 21 年 5 月 27 日一部改定

平成 22 年 7 月 21 日一部改定

基準の運用上の留意点

1. 原則として研修医が行う、あらゆる医療行為には指導医の許可が必要である
2. 救急救命時にはこの限りではないが、可及的速やかに指導医に確認または立会いを依頼する
3. 北海道大学病院としての基準を各診療科で運用する際に、患者の状態により、レベルを上げることはあり得るが、下げることはしない

研修医の医療行為に関する基準

レベル 1：研修医が単独で行ってよい医療行為

- ・ 初回実施時は指導医の立会いのもとで実施する
- ・ 困難な状況があった場合は、指導医に相談する

レベル 2：指導医の許可を得た上で、単独で行ってよい医療行為

- ・ 研修期間の経過に伴う、研修医の技能の向上の判断（熟練度の評価）は症例経験数を踏まえ、指導医が能力評価を行った上で、研修医単独での施行を認める
- ・ 許可を与えるための、症例数や技術評価の基準は特に定めない
- ・ 同じ医療行為であっても患者個々に条件が異なる。同一患者における同一医療行為であっても患者の状態は一定ではないので、毎回許可を得てから実施する

レベル 3：指導医の立ち会いを必須とする医療行為

- ・ 2 年間の研修期間において、研修医単独での施行を認めない

	処 方	注 射	診察・その他
レベル1	定期処方の継続 臨時処方の継続	皮内注射 皮下注射 筋肉注射 静脈注射 末梢点滴	医療面接 全身の視診、打診、触診 基本的な身体診察法：泌尿・生殖 器の診察、小児を除く 直腸診 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察 インスリン自己注射指導 血糖値自己測定指導 診断書の複製 診療録の作成
レベル2	定期処方の変更 新たな処方（定期・臨時等） 高カロリー輸液処方 酸素療法の処方 経腸栄養新規処方 危険性の高い薬剤の処方 （危険性の高い薬剤としてリスト化されている処方） ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 ・インスリン 麻薬処方 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	輸血 危険性の高い薬剤の注射 （危険性の高い薬剤としてリスト化されている注射） ・向精神薬 ・抗悪性腫瘍剤 ・心血管作動薬 ・抗不整脈薬 ・抗凝固薬 動脈内への薬剤投与 麻薬剤注射 ：法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は麻薬を処方してはいけない	紹介状の作成 診断書の作成 治療食の指示
レベル3		関節内注射	内診 死亡診断書の作成 重要な病状説明 インフォームドコンセントの取得

	検 査	処 置
レベル 1	正常範囲の明確な検査の指示・判断 一般尿検査、便検査、血液型不適合試験、血液・生化学的検査、血液免疫血清学的検査、髄液検査、細菌学的検査・薬剤感受性検査など 他部門依頼検査指示 心電図・ホルター心電図指示、単純 x 線検査指示、肺機能検査指示、脳波検査指示など 超音波検査の実施 動脈圧測定、中心静脈圧測定 MMSE (Mini-Mental State Examination) 聴力、平衡、味覚、嗅覚、知覚検査、視野、視力検査、間接喉頭鏡 アレルギー検査 (貼付)、長谷川式認知テスト	静脈採血 皮膚消毒、包帯交換 外用薬貼付・塗布 気道内吸引、ネブライザー 気管カニューレ交換 局所浸潤麻酔 抜糸 ドレーン抜去 皮下の止血 包帯法
レベル 2	検査結果の判読・判断 心電図・ホルター心電図判読、単純 x 線検査判読、肺機能検査判読、脳波判読、超音波検査判読など インフォームドコンセントの必要な検査指示 CT 検査・MRI 検査・核医学検査など 筋電図、神経伝導速度、 内分泌負荷試験、運動負荷検査	動脈血採血 創傷処置、軽度の外傷・熱傷の処置 導尿、浣腸 尿カテーテル挿入と管理－新生児・未熟児は除く 胃管挿入と管理 皮下の膿瘍切開・排膿 皮膚縫合 ドレーン・チューブ類の管理 動脈ライン留置 小児の静脈採血 人工呼吸器の管理 透析の管理 静脈留置針の穿刺、留置

	検 査	処 置
レベル3	以下の侵襲的検査 負荷心電図検査 負荷心エコー検査 直腸鏡検査、肛門鏡 消化管造影、脊髄造影など 以下の危険性の高い侵襲的な検査 胸腔・腹腔鏡検査 気管支鏡、膀胱鏡 消化管内視鏡検査・治療 経食道エコー 肝生検、筋生検・神経生検 心・血管カテーテル検査	以下の侵襲的処置 骨髄穿刺、胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺など、 髄腔内抗癌剤注入 以下の危険性の高い侵襲的な処置・救急処置 <u>マスクとバッグによる用手的換気、エアウェイ</u> <u>の使用（経口、経鼻）、ラリンジアルマスクの挿</u> <u>入、気管挿管、除細動、I A B P（Intra Aortic</u> <u>Balloon Pumping）、P C P S（Percutaneous</u> <u>Cardio Pulmonary Support）など</u>
	発達・知能・心理テストの解釈	中心静脈カテーテル挿入・留置 小児の動脈穿刺 針生検 脊髄麻酔 硬膜外麻酔 吸入麻酔 深部の止血 深部の膿瘍切開・排膿、深部の嚢胞切開・排 膿、深部の嚢胞穿刺、深部の縫合

- ・レベル3のうち下線の行為については、救急救命のためただちに施行が必要とされる場合には研修医が単独で実施可能
- ・電子カルテの記載は、原則として48時間以内に指導医の承認が必要
- ・紹介状、診断書は、患者・家族に手渡す前に指導医のダブルサインが必要

ダブルサインとは：研修医と指導医の間で交わされる行為、記事記載について事後承認扱い。研修医が入力した「診察記事」、「電子コメント」に対してのみ指導医が事後承認を行う。

（参考）

カウンターサインとは：医学生と指導医の間で交わされる行為、診察記事について事前承認扱い。

北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規

平成 23 年 3 月 10 日

制 定

(設置)

第 1 条 北海道大学病院（以下「病院」という。）に、病院の医師臨床研修における研修プログラム（以下「研修プログラム」という。）が円滑に遂行されるよう管理するため、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(協議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関すること。
- (2) 研修医の管理に関すること。
- (3) 研修医の研修状況の評価に関すること。
- (4) その他医師臨床研修の管理に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 病院長
- (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
- (3) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
- (4) 北海道大学病院規程第 5 条第 1 項に規定する診療科に所属する教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成 18 年海大達第 35 号）第 3 条第 2 号に該当する特任教員を含む。以下同じ。）及び第 6 条第 1 項に規定する中央診療施設等に所属する教員並びに北海道大学病院中央診療施設等内規第 2 条第 1 項に掲げる中央診療施設等に所属する教員のうちから病院長が指名する者
- (5) 協力病院群を構成する関係施設の研修実施責任者
- (6) 前号に規定する関係施設以外に所属する医師又は有識者 1 名
- (7) 事務部長
- (8) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第 6 号及び第 8 号の委員は、病院長が指名する。

3 第 1 項第 4 号、第 6 号及び第 8 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第 1 項第 4 号から第 6 号まで又は第 8 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

5 前項の代理者は、第 1 項第 4 号から第 6 号まで又は第 8 号の区分ごとに選出する。

(委員長及び委員会の開催)

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

4 委員長は、委員会を年1回以上開催するものとする。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員が会議に出席できないときは、委任状の提出をもって、出席したものとみなす。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(臨時会)

第7条 第2条の協議事項のうち緊急な対応が必要となった場合、臨時の委員会（以下「臨時会」という。）を開くことができる。

2 臨時会は次に掲げる者をもって組織する。

(1) 第3条第1号から第3号まで及び第7号に規定する者

(2) その他委員長が必要と認めた者

3 委員長は、審議終了後速やかに、委員会に報告を行うものとする。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員長及び委員は、委員長が指名する。

3 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年11月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

北海道大学病院医師臨床研修専門委員会要項

平成 23 年 3 月 31 日

制 定

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規（平成 23 年 3 月 10 日制定）第 7 条第 3 項の規定に基づき、北海道大学病院医師臨床研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 研修プログラムの管理に関する専門的な事項
- (2) 研修医の管理に関する専門的な事項
- (3) 研修医の研修状況の評価に関する専門的な事項
- (4) 研修医の募集及び採用試験に関する専門的な事項
- (5) その他医師臨床研修に関する専門的な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長
- (2) 臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門副部門長
- (3) 北海道大学病院医師臨床研修管理委員会内規第 3 条第 1 項第 4 号に規定する者
- (4) 医療安全管理部長が指名する者 1 名
- (5) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第 5 号の委員は、臨床研修センター長が指名する。

3 第 1 項第 4 号及び第 5 号の委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第 1 項第 3 号又は第 5 号の委員が、旅行、疾病、事故その他やむを得ない事由によって委員会に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

5 前項の代理者は、第 1 項第 3 号又は第 5 号の区分ごとに選出する。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、臨床研修センターの医科卒後臨床研修部門長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところ

ろによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成23年10月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

北海道大学病院臨床研修センター内規

平成 17 年 4 月 7 日

制 定

(趣旨)

第 1 条 この内規は、北海道大学病院規程（平成 15 年海大達第 48 号）第 19 条の規定に基づき、北海道大学病院臨床研修センター（以下「センター」という。）の組織及び業務について定めるものとする。

(組織)

第 2 条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) センター長

(2) その他必要な職員 若干名

2 センターに、医科臨床研修部門、歯科臨床研修部門及び専門研修部門（以下「各部門」という。）を置く。

3 センター長は、病院長の命を受け、前項の各部門の業務を総括する。

4 センター長は、病院長が指名する。

(業務)

第 3 条 医科臨床研修部門及び歯科臨床研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 研修医の募集に関すること。

(2) 研修医の受入れ及び研修コースの振り分けに関すること。

(3) 研修プログラムの立案に関すること。

(4) 研修の実施依頼に関すること。

(5) 研修の評価のとりまとめに関すること。

(6) 各診療科及び研修関連病院との連絡調整に関すること。

(7) その他臨床研修に係る業務に関すること。

2 前項に掲げる業務のうち、医科臨床研修部門においては、研修医（医科）に関する業務をつかさどる。

3 第 1 項に掲げる業務のうち、歯科臨床研修部門においては、研修医（歯科）に関する業務をつかさどる。

4 専門研修部門は、次に掲げる業務を行う。

(1) 専攻医の募集に関すること。

(2) 専攻医の受入れに関すること。

(3) 専門研修プログラムに関すること。

(4) 医師の生涯教育に関すること。

(5) その他専門研修に係る業務に関すること。

(医科臨床研修部門)

第4条 第2条第2項の医科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、医科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 医科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 医科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(歯科臨床研修部門)

第5条 第2条第2項の歯科臨床研修部門に部門長を置き、病院長が指名する歯学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、歯科臨床研修部門の業務を統括する。
- 3 歯科臨床研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 歯科臨床研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(専門研修部門)

第6条 第2条第2項の専門研修部門に部門長を置き、病院長が指名する医学研究院の教授をもって充てる。

- 2 前項の部門長は、センター長の命を受け、専門研修部門の業務を統括する。
- 3 専門研修部門に副部門長を置き、部門長が指名する。
- 4 前項の副部門長は、第1項の部門長を助ける。
- 5 専門研修部門に部門長が必要と認めた職員を置くことができる。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成17年4月7日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学病院卒後臨床研修センター内規（平成15年9月17日制定）は、廃止する。

附 則

この内規は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月2日から適用する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

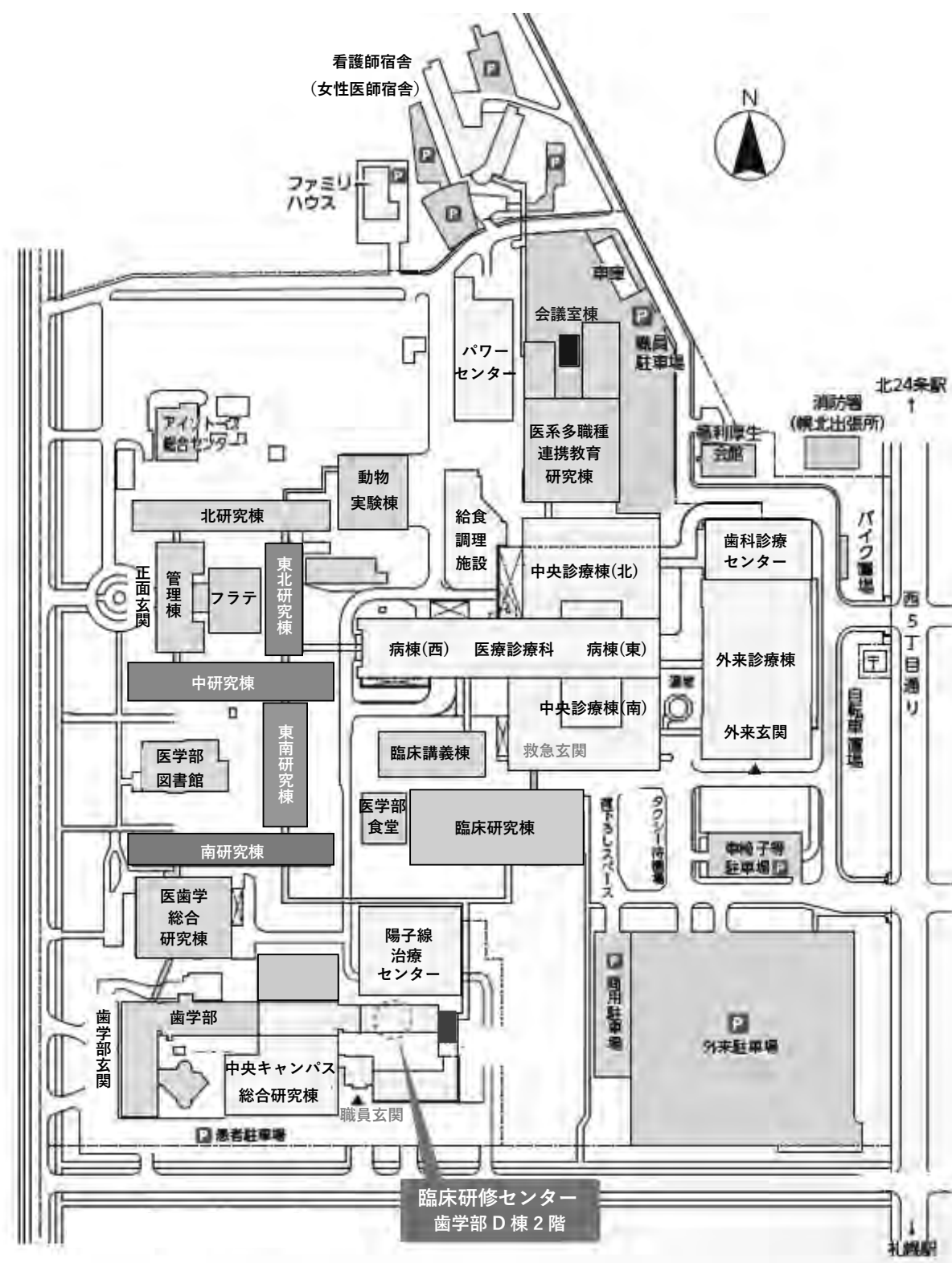
附 則

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

北海道大学病院臨床研修センター配置図



(連絡先) 北海道大学病院臨床研修センター (事務室)

住所 : 〒 060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目

T E L : 011-706-7045・7050 F A X : 011-706-7051

メールアドレス : sotsugo@med.hokudai.ac.jp